

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（58）
2. 日時：令和3年2月1日 13時30分～16時15分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

江崎企画調査官※、三浦上席安全審査官、藤原主任安全審査官、
小野安全審査専門職、土居安全審査専門職、服部安全審査専門職、
杉原技術参与、谷口技術参与※

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 課長、他2名

原子力本部 土木建築部 部長、他4名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「新型コロナウイルス感染症対策に係る原子力規制委員会の対応の一部変更について」（令和2年6月24日 第12回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（土木耐震）（O2-他-F-19-0011_改0）
- （2）補足-610-20 屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について（O2-補-E-19-0610-20_改2）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁フジワラです。では早速ヒアリングのほう時間がありましたので始めたいと思います。それと本日のヒアリングの進め方としましては、もうすでにこの許可であることの説明はされてるようなものだと思いますので、ヒアリング或いは許可との差分という形でちょっと
0:00:22	御説明のほう官等管板っていうかいただいた上での質疑のほうに入っていきたいと思います。説明のほうをお願いします。
0:00:33	はい、東北電力ホリミです本日よろしくお願いいたします。
0:00:36	本日は、屋外重要土木、
0:00:39	構造物の耐震安全評価についてのうち、CCb工法について御説明いたします。
0:00:45	まず資料の確認をお願いいたします。
0:00:47	資料二つございます。一つ目が、
0:00:51	資料番号を2ほかF190011 回ゼロへ女川2号工認指摘事項に対する回答整理表各土木耐震というA4の1項の1枚もの。
0:01:04	二つ目に、
0:01:06	資料番号を2歩E19061020 階に補足614-20 伺い事業飛ぶ構造物の耐震安全評価について、
0:01:17	その二つの資料、
0:01:18	となりますが、よろしいでしょうか。
0:01:25	資料の説明の前に本日の概要について御説明いたします。本日はCCb工法の適用性についての説明として大きく二つございます。
0:01:35	一つ目は、設置変更許可審査事故の申し送り事項として2項目説明いたします。
0:01:41	資料1の回答整理表をご覧ください。
0:01:46	回答整理表二つ項目ございますが、
0:01:51	コメント内容のほうを読み上げます。ディープビーム的な上段になりますが、地域ディープビーム的な破壊形態が想定される部材へのCCb工法の適用性の確認として、ディープビームを対象とした実験を行い、その結果は照査
0:02:05	詳細設計段階で示す。
0:02:08	もう一つが面内荷重と面外荷重が作用する部材へのCCb工法の適用性の確認として、数値解析を行い、その結果詳細段階で示すと。
0:02:18	この2点になります。こちらについては別途御説明いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	二つ目には詳細設計を踏まえ、CCFP補強を行うこととなりました、構造物に対するCCb工法の適用性等、詳細設計を踏まえ、設置変更許可審査時の内容を補足する項目としてましょとき行った部材の適用性について、
0:02:39	御説明いたします。大きくこの2点について本日御説明させていただきたいと思います。
0:02:47	次に資料の2、補足614-20億は重要土木構造物の耐震安全評価についてを御確認ください。
0:02:56	ページをめくっていただきまして、まず目次がございます。
0:03:00	また目定常めくっていただきますと、
0:03:03	屋外重要土木構造物の耐震安全評価についての参考資料、こちらがございます。
0:03:09	こちら今回赤枠で示してございます参考資料6。
0:03:13	というものが今回回答になります。こちらについて御説明いたしますが、ページをめくってください。
0:03:21	参考資料の目次になります。
0:03:24	本資料を設置変更許可審査時の資料をベースに詳細設計を踏まえ内容補足させていただきます。
0:03:31	もう目次の最終ページに記載はございますが、
0:03:34	設置変更許可時からの内容を補足した箇所はお任せしてございます。
0:03:39	本文の一部と、添付資料の効力、
0:03:43	こちらについては設置変更許可審査での資料に追記してございまして、
0:03:48	主に設置変更許可時の申し送り事項について御説明いたします。
0:03:52	添付資料の7と8は、詳細設計を踏まえ、CCb工法の適用性確認不足するものでございます。
0:04:00	それでは内容の説明に移りたいと思います。
0:04:03	ページ参考6-1といたしまして、1ページ目をお開きください。
0:04:13	1ページ目です。一章が4になりますが、こちらは、1ページ目から17ページ目にかけて、CCb工法の概要及びCCbによる耐震補強対象の構造物を示しております処理になります。
0:04:29	次のページをお願いいたします。
0:04:31	2ページ目と3ページ目の第1-2表にCCbによる耐震補強対象の構造物の諸元を示してございます。
0:04:40	一番表の右側。
0:04:42	備考欄に着目いただきたいのですが、詳細設計反映という形で詳細設計を踏まえ、CCb補強を行う構造物を示してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:52	具体的には 12 ページ目の表の下ですが、構造物名称としまして、取水口、
0:04:59	出席の標準部、
0:05:01	ページめくっていただきまして、
0:05:03	上から海水ポンプ室、原子炉機器冷却海水配管ダクト鉛直部。
0:05:09	第 3 号機海水ポンプ室、これらが挙げられます。
0:05:13	また 10 ページから 17 ページにかけまして、これらの各構造物のCCb補強の箇所を示してございます。
0:05:24	企業で任せるところが耐震補強箇所になります。
0:05:28	13 ページと 14 ページに、
0:05:31	示します海水ポンプ室。
0:05:34	及び 16 ページと 17 ページに示します 3 号海水ポンプ室につきましては、
0:05:40	CCb補強に加えてございますやつまたは部材追加箇所をあわせて示してございます。
0:05:46	これらのシェアと補強部におけるCCb工法の適用性は別途添付資料 7 で御説明いたします。
0:05:56	なお、これらの詳細設計によって対象となった構造物の適用性は、
0:06:00	資料 1 ページ目のカーブに記載してございますが、添付資料 8 で、設置変更許可診察と同様の方ほう方で確認してございます。
0:06:10	はい。
0:06:12	それでは添付資料 8、一番後ろになりますが、こちらで御説明させていただきますと、添付資料 8 をお願いいたします。
0:06:23	ページ番号、参考 6-1、8-1 と。
0:06:32	右肩に添付資料 8、詳細設計を踏まえ整備補強を行う構造とに対するCCb工法の適用性の検討です。
0:06:42	添付資料 8 では詳細設計を踏まえ、CCb補強の対象となる取水口取水の標準部、海水ポンプ室、原子炉機器冷却海水配管ダクトの鉛直部及び第 3 号機海水ポンプ室のCCb工法の適用性について、設置変更許可審査と同じ考え方で整理を行い、適用性を確認してございます。
0:07:05	詳細設計を踏まえ、設置変更許可申請の内容を補足する項目でございます。水圧補強を行ったことについても別途確認をしてございます。
0:07:15	具体的な確認方法ですが、本文の 4 章、女川 2 号機におけるCCb工法の適用性の確認示すフローに倣いまして本文 4. 参照適用正確に項目の抽出に示す各項目が適用範囲にあり、CCbのせん断局ができることを確認してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:34	詳細の説明は割愛いたしますが、各適用性確認項目と確認結果を2ページ目から7ページ目にかけて整理してございます。
0:07:44	16戸の各適用性確認項目について、建設技術審査証明報告の適用範囲であること、または適用範囲確認できないと項目がある場合は、数値解析模型実験等により適用性を確認し、詳細設計に対象となった構造に対しても適用性があることを確認してございます。
0:08:06	簡単でございますが、添付資料8以上でございます。
0:08:10	このページの移動が多く重複ですが、本文の18ページをお願いいたします。
0:08:26	2章以降、設置変更許可時の内容含め簡単に御説明いたします。
0:08:31	2章ではCCb工法の概要について、18ページから19ページに記載してございます。
0:08:37	こちら設置変更許可時と同様な内容ですので、詳細の説明は割愛いたします。
0:08:43	続いて20ページをお願いいたします。
0:08:48	20ページは参照でございますが、参照場建設技術審査証明報告書の概要として、CCbの実験概要CCbのせん断補強効果の考え方。
0:08:59	施工に関する内容を20ページから66ページにかけて示してございます。
0:09:04	こちらについても設置変更許可申請の内容と同様ですので、調査の説明は省略いたします。
0:09:12	続いて67ページをお願いいたします。
0:09:16	はい。
0:09:18	67ページですが、4章になります。
0:09:23	4章では、女川2号機におけるCCb工法の適用性を
0:09:28	つippiページ68ページに示します適用性確認フローに基づき確認してございます。
0:09:34	先ほどの添付資料8で示さ詳細設計を踏まえ性CB補強を行う構造物は、この表4書の通り、適用性を確認してございます。
0:09:44	68ページのフローを御確認いただきたいんですが、ポイントは、こちらに示すフローのうち、1から三番になります。
0:09:52	フロー上から資格三つ続きますが、一つ目の①適用性確認項目の抽出、
0:09:59	こちらでもあと施工によるせん断補強において、せん断補強効果に影響を与えらる項目。
0:10:06	及び
0:10:07	美浜3号で今日的RPS日広報等の採用中止でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:12	次に菱形になりますが、②として建設技術者審査証明報告書の適用範囲の確認。
0:10:20	こちら女川 2 号機の屋外重要土木構造物等に採用する東京手法がCCb工法の接液セッション審査証明報告書において規定されている適用範囲におさまっているかというものを確認してございます。
0:10:34	次に三番としまして、せん断補強効果の確認、上の①で挙げた適用性確認項目のうち、
0:10:42	②で確認できない項目につきまして、適用性の確認を実施するものでございます。
0:10:48	せん断補強を期待できるかという観点で検討してございます。
0:10:53	最後に④番ですが、CCbの施工精度に影響を与える項目として、そういったものがないかという確認をして適用性を確認しているものでございます。
0:11:03	4 相のうち 71 ページ、82 ページ、85 ページ。
0:11:09	はい。
0:11:10	こちらに一部青マーカの記載がございしますが、
0:11:14	こちらは 4 月補強部における適用性でございます。こちらについては別途添付資料 7 というものがございしますので、こちらで詳細を御説明させていただきます。
0:11:25	続いて、124 ページをお願いいたします。
0:11:40	100 年、24 ページ、5 章は女川 2 号機におけるCCb工法の適用性のまとめということで、今回の詳細設計の結果を反映して記載してございます。
0:11:54	では続いて、次のページをお願いいたします。
0:11:59	次ページ以降は 4 章の内容を補足する添付資料となっております。
0:12:03	添付資料 1 が県政均質審査証明書の写し。
0:12:08	10 ページの添付資料 2、女川 2 号機における部材諸元ほかの適用性の検討。
0:12:14	でございますが、こちらは女川 2 号機の予定CCbの補強により、
0:12:19	耐震補強を行った構造物の遅れがブザーせん断スパン比といった部材諸元や最下方法が建設技術審査証明報告書の実験と異なってもせん断ひび割れを抑制し、せん断補強を超えていくほうかお答えできるかという観点で、
0:12:36	材料非線形解析により確認してございます。
0:12:41	それをまとめた資料が添付資料になってございますが、当初につきましても設置変更許可時等々の内容でございますので、詳細の説明は割愛いたします。
0:12:50	続いて添付資料 3、お願いいたします。
0:12:57	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:06	添付資料 3 につきましても、
0:13:11	設置変更許可時という内容でございますひび割れに対する定着機能の保持と求めということで整理してございます。
0:13:18	続いて添付資料 4 です。
0:13:22	添付資料 4 は、女川 2 号のコンクリートの健全性の検討ということで、
0:13:28	CCbを発揮できる状態になるかというものを今後構造物について整理したものでございます。
0:13:35	2.2 に一部大まかな記載ございますが、こちらを一部文言を記載のほうを適正化するというので、
0:13:42	株がでございます。
0:13:46	続いて添付資料 5 をお願いいたします。
0:13:53	添付資料 5 ディープビーム的な破壊に対するCCb工法の適用性の検討ということです。
0:13:59	添付資料 5 では、設置変更許可審査時ディープビームにとある部材に対して応力の負担機構、設計の保守性ひび割れの影響の観点から、適用性を整理してございました。
0:14:11	今回は専門職事項でも御説明させていただきました通り、ディープビームを対象とした実験を行い、適用性を確認してございますので、こちらについて御説明させていただきます。
0:14:22	当資料の 4 ページお願いいたします。
0:14:33	4 ページに 3 参照ディープビーム的な破壊形態に対するCCbのせん断補強効果の確認実験でございますが、
0:14:41	ディープビームを対象とした模型実験を実施、ディープビームにおいてもCCb工法により、
0:14:46	せん断補強効果が発揮され棒部材式で算定されるせん断耐力よりも、
0:14:52	大きなせん断耐力れることを確認いたしております。
0:14:56	模型実験について御説明いたします。
0:15:01	次のページの添付 5-3 の表 5 ご覧ください。
0:15:06	模型実験は 5 ケース実施してございます。
0:15:10	表の縦軸に各ケース 5 ケース並べておりまして、横軸にケースの概要せん断補強鉄筋の書類せん断スパン比、せん断補強鉄筋比及び各ケースの目的を記載してございます。
0:15:23	でケース 1 は基本ケースとしまして、
0:15:26	1000 農協鉄筋の種類CCbせん断スパン比 1.44 せん断強度比鉄筋比 0.2 としまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:34	ディープビームとなる部材の適用性を確認してございます。
0:15:37	以下、ケース 2 からケースでございますが、ケース 1 と異なる箇所河川費でございます。
0:15:44	ケース 2 は、せん断スパン比の違いに着目しまして、よりTという意味になるよう、せん断スパン比 1.0
0:15:50	としてございます。計算はせん断補強鉄筋違いかも含めまして、せん断補強鉄筋比を 0.2 から 0. 高校へと変更してございます。
0:16:01	ケース 4 は、せん断補強鉄筋の違いとしまして、あと施工ではなく先施工ケース 5m金という形で、これについてppmの影響を確認してございます。
0:16:16	6 ページ目から 7 ページ目にかけて、
0:16:19	試験体の証言と試験体の 1 例の試験体図及び再風、
0:16:27	最下装置の概要としまして 5000kN圧縮試験研究を示してございます。
0:16:33	6 ページ目の試験体職員にございますが、幅 550 高さ 880。
0:16:40	英国イトウの設計基準強度 24 とした。
0:16:43	添付 5-2 図に示すような入り試験体により実験を行ってございます。
0:16:52	今回これに対して 5 ケース実験を行いました。その結果を 7 ページの 4.3 以降に記載してございます。
0:17:03	8 ページをご覧ください。
0:17:08	各ケースの荷重変位との関係及び実験終了時のひび割れ状況、
0:17:13	各ケースごとに整理してございます。
0:17:17	Case1 今回代表に御説明いたします。各ケースごとに図に示されております通り、上段から荷重と変位の関係
0:17:27	実験終了時のひび割れ状況として、②③、これ北面から見たものと皆面から見たものを示してございます。
0:17:36	荷重変位関係ですが、
0:17:38	図でございますが、縦軸にせん断力、横軸に中央変位、
0:17:43	青い線で書いてくるのがPDベルトでございますが、
0:17:47	距離、赤いプロットがでございます。
0:17:49	こちらはCCbのひずみを計測ございまして、ひずみが降伏相当に達した状態を示してございます。
0:17:56	企画降伏相当というものが鉄筋の規格降伏強度に相当するもの。
0:18:01	実交付相当というのが実際の実降伏強度に対応するひずみを示してございます。
0:18:06	これでCCbと聞いている聞いていないということを確認してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:11	次に②③に示します、ひび割れ状況ですが、ひび割れは青線と赤線でひび割れ状況を示してございます。
0:18:20	また、途中に、CCbNOということで、N1 からN10、
0:18:25	S1 からs10 でございますが、こちらは実際にCCbを配置してございますので、それらがわかるひび割れとの関係がわかりやすいように、CCbを投影したやつになってございます。
0:18:37	Case1 の結果ですが、
0:18:39	ケース 1 の場合は、
0:18:42	東側のスパン、こちらのほうにひび割れが最下点近傍に向かって進展しまして、体力っても低下してきました。
0:18:51	で、
0:18:52	n孔辺りですが、最下点近傍では、コンクリートの中でそういったものが確認されてございます。
0:18:59	いわゆるディープビーム的な破壊というものが実験体のほうからも確認できております。
0:19:08	9 ページから 9 ページ以降、各ケースの結果を示してございます。
0:19:13	各ケースの詳細の説明については割愛いたしますが、ディープビームの破壊の特徴でございます最下点としてを結ぶ圧縮ストラット
0:19:22	これの下方に発生する、斜めひび割れやコンクリートの壁がすべてのケースで確認されております。
0:19:33	続いて 15 ページをお願いいたします。
0:19:40	15 ページは今回の実験の結果に対する
0:19:44	補正について検討してございます。
0:19:47	一般的にはディープビームと当部材っていうものをせん断耐力は、
0:19:51	TPMのほうが大きいというところでございますが、
0:19:55	スナバのCCbを適用する部材については、保守的に棒部材式により、
0:20:01	せん断耐力を算定してございます。
0:20:04	今回棒部材より算定されるせん断耐力と実験結果を比較しその妥当性保守性を確認してございます。
0:20:12	15 ページの下、先方のこの表をご覧ください。
0:20:19	こちらは実験ケースのせん断耐力とせん断耐力評価式との比較を示してございます。
0:20:26	左からナンバーとして、ケース 123 と右側にケースの概要としまして、せん断スパン先端的補強鉄筋比せん断耐力として実験とせん断たる評価式の辺りに示してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:40	せん断耐力のところに注目いただきたいんですが、各実験値
0:20:44	あと、せん断耐力の棒部材式
0:20:47	僕打診等に括弧示してございますが、これは実験との比を記載してございます。
0:20:52	ケース 1 では、実験 1287 に対して防護材が 744 ということで、実験が 1.73 倍程度大きいことが挙げられます。
0:21:02	こういったところからすべてにおきまして実験値ば防護具材資金基づく耐力値を上回る結果となっております。
0:21:13	次のページをお願いいたします。
0:21:15	うん。
0:21:17	ディープビームにおけるCCb工法の適用性ということでまとめています。本事件によりTPPについてもCCbにより十分なせん断補強効果があることを確認いたしました。
0:21:28	また、実験値変えられたせん断耐力は棒部材式で算定されるせん断耐力を上回り、せん断スパン比がディープビーム式で想定する破壊形態の範囲内でも東部材を用いることの補正を確認することができました。
0:21:44	添付資料 5 の内容は以上でございます。続いて添付資料 6 を御説明いたします。
0:21:52	添付資料 6 面内荷重と面外荷重が作用する部材へのCCb工法の適用性の検討です。
0:21:59	添付資料 6 では面内荷重と面外荷重が作用する部材に対し、設計の考え方という観点から、適用性を整理してございました。
0:22:08	今回、数値解析により適用性を確認しますとしておりますので、こちらについて御説明をいたします。
0:22:16	本資料の 3 ページお願いいたします。
0:22:26	3 ページ目に数値解析による検討ということで示してございますが、今回の数値解析は三次元静的材料非線形解析、COMⅢを用いて行っております。
0:22:40	検討の概要について簡単に御説明いたします。6-4 ページ、10 ページですが、
0:22:45	検討対象とした構造物等概念図を示してございます。
0:22:51	今回箱型構造物において、面外荷重として地震時動圧が作用する側壁のうち、CCbのみでせん断補強を行う軽油タンク室の側壁
0:23:02	ほぼ対象としてございます。
0:23:05	4 ページ目に平面図と断面図でございまして、赤枠で示した箇所。
0:23:09	こちらの対象部材としてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:13	本検討は当分布の面外荷重が作用しているメンバーに対し、面内一世作用させた場合に、小CCbに生じる軸ひずみや面内せん断ひび割れの影響を確認してございます。
0:23:31	5 ページをお願いいたします。
0:23:34	5 ページ目以降は、解析モデルと荷重条件です。
0:23:38	まず解析モデルについて御説明いたします。
0:23:42	解析対象部材の断面図と解析モデル図を下の 6-5 と 6-6 図に示します。
0:23:50	6-5 図を確認いただきたいんですが、厚さ方向のモデル化は指摘の位置だったり、CCbの鉄筋無効区間のモデル化を考慮して、要素分割を行ってございます。
0:24:02	明日報告に対し、紙面左側そっち外面側から内側に向かって資金、①をして金配置区間CCb無効区間②を指摘配置区間とCCb有効期間。
0:24:15	③を指定金なし。
0:24:18	CCb有効次にまた②という形で合計 4 分割してございます。
0:24:24	Y方向については、絵面内一世再開発する際に、部材全体面内せん断変形が作用し均一に斜め 45° の日ベル発生することを目的にござい幅方向に延長してございます。
0:24:37	幅方向としましては、系タンク室の成型方向の裁断し官庁である。
0:24:42	14.5mを採用してございます。
0:24:48	次のページをお願いいたします。
0:24:52	続いて、荷重条件について御説明いたします。
0:24:56	面外荷重と面内荷重が不在同時に作用した状況を想定するために添付 6-7 図の通り、まず面外荷重のみを作用させた状態を再現し、
0:25:07	その状態に対して面内荷重を現在漸増材化させてございます。
0:25:13	6-7 図の左側ですが、こちらの面外荷重の作用方法です。底面を固定境界としまして外面側から答弁活用されるさせます。
0:25:24	面外荷重は部材が破壊する前かつ面外荷重への効果があらわれるように、
0:25:29	ピーク理想と課税の 0.8 程度に相当する課税としてございます。
0:25:34	右側の図は平面内課税の採用方法でございますが、解析モデル四辺に強制変位を与えたモデル全体に挑戦な変形を作用させてございます。
0:25:45	作業させる変形は、女川のCCb補強部材で見込まれている設計応答値、こちら 500 マイクロ程度になりますが、十分の余裕を見込んで 750 マイクロ程度まで作用させてございます。
0:25:58	はい。
0:25:59	これらの解析結果について、6 章以降で御説明をいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:05	今回CCbの方法等せん断補強機能等を確認するためにせん断補強金の軸方向のひずみをX方向の区処Xを確認してございます。
0:26:15	要素の着目する位置は、
0:26:19	1 ページ 6 の 7 ページの 6-8 図にございますが、
0:26:23	モデル高さ方向、Z方向は面外せん断力の操作位置である。
0:26:28	解析モデル下端から部材厚の 2 分の 1 の 1。
0:26:32	42 分のD-1としてございます。
0:26:35	厚さ方向は面外荷重による斜めひび割れが生じる断面中央位置、
0:26:39	としておりまして、
0:26:41	前方向幅方向は、解析モデルの中央としてございます。
0:26:47	各解析ステップにおける、せん断補強金の事項この以前の進展状況を
0:26:52	次ページ、6-8 ページですが、こちらの図 6-9 に示してございます。
0:26:58	はい。
0:27:00	6-9 図には上段にCCb工法、下段には先施工の二つを示しての結果を示してございます。
0:27:11	横軸に面外細管の解析ステップ
0:27:15	最初の面外最下層がございましてその後面内荷重さ以下となっております。
0:27:19	縦軸にせん断補強系のひずみとして軸方向のひずみ、
0:27:24	ほプロットしてございます。
0:27:27	図中の / 1000 土地太線ございまして、これ面外荷重最終ステップがありまして、その後面内年度再開させていると思う。
0:27:35	というような荷重のモデルになります。
0:27:39	グラフ国民と。
0:27:41	聞きたいのですが、面外荷重作用時の初期段階ではせん断補強鉄筋の時刻飛行ひずみには変化が見られませんが、
0:27:50	面外荷重の増加に伴い並べ被害が生じ、
0:27:55	斜めひび割れ発生後、面外荷重の増加とともに単調増加が確認され、せん断補強金が面外荷重に対して、
0:28:02	全農強化を発揮していることが確認できます。
0:28:08	9 ページ目に面外荷重の最終ステップ地におけます。
0:28:12	ひび割れ図を示してございますが、
0:28:15	面外荷重が再開します、外側紙面左側ですけれども、こちらで曲げひび割れが生じ断面中央位置では 7 名ひばりが確認されてます。
0:28:25	面内荷重作用時次に面内荷重ですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:29	せん断補強鉄筋の軸方向ひずみは面内荷重を作用させても、ほぼ一定となりまして、軸方向ひずみの影響を与えない結果が確認されてございます。
0:28:40	絵面内せん断ひずみを十分に余裕を見込んだ値として 750 マイクロかけてございすが、
0:28:46	部材に一様にかかっているということの確認のために、10 ページ目をお開きください。
0:28:53	10 ページ目にY方向、幅方向でございすが、
0:28:57	メガせん断ひずみを示してございす。
0:29:00	部材になり可能な限り町の
0:29:04	変な荷重が作用させるように、
0:29:06	してございまして、一部の短ございすが、概ね全体に一様に面内荷重が作用しているということが見てとれます。
0:29:16	先施工の場合もCCb工法とほぼ同様な結果であることを確認してございす。
0:29:24	11 ページ目をお願いします。
0:29:30	11 ページ目は、CCb工法の適用性ということで求めてございすが、
0:29:35	面外荷重と面内課税が当然採用する部材へのCCbに生じる軸方向ひずみなどを確認して面外荷重と面内荷重が同時に作用する状態においてもCCbに作用する荷重は面外課税のみの場合と変わらず絵面内荷重が作用してもCCbにより十分なせん断補強効果が得られることを確認いたしました。
0:29:55	またCCb工法と先施工、これの共同は
0:30:00	冒頭言った同様の形式を示してございまして、
0:30:03	CCb工法の適用性が確認できてございす。
0:30:07	今回
0:30:08	部材のせん断解体する裕度 0.8 程度に抑えると設計をしてございす。
0:30:14	今回の数値解析を採用させた面外荷重を実構造物に作用する荷重と比較して保守的な感じで設定しているこう言えます。
0:30:24	続いて、添付資料 7 の説明をいたします。次のページをお開きください。
0:30:32	添付資料 7 は間違いと補強部におけるCCb工法の適用性の検討でございす。
0:30:42	女川 2 号の繰り返し言う飛ぶ構造物のうち、先ほどご説明させていただきましたへ海水ポンプ室、第 3 号機海水ポンプ室につきましては、
0:30:51	1 ページの添付の 7-1 図 7-2 図に示しますように、CCb工法によりせん断を今日行った既設材に対して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:01	構造部材の曲げ軸力系破壊に対する補強としてのコンクリートによる増し厚補強を行ってございます。
0:31:09	添付 7-1 図と 7-2 図をご覧ください。
0:31:13	上段に海水ポンプ室。
0:31:15	下段に第 3 号機海水ポンプ室の高騰を示してございます。
0:31:19	グレーの部分が 4 月の補強箇所、黄色のマーカが Ccb 施工箇所でございます。
0:31:27	こちらの該当箇所は低版と側壁それぞれございまして、4 月補強箇所の既設部材には Ccb 補強を行ってございます。
0:31:36	続いて下段の第 3 号機海水ポンプ室の構造図でございますが、
0:31:41	平面図断面図の
0:31:43	取引の量が 4 月補強してございます。
0:31:50	これら二つの施設部材とシャツ部材の諸元を次ページの
0:31:55	表に整理してございます。
0:32:00	3 ページ目ですが、左側に補強箇所としまして、海水ポンプ室、第 3 号機海水ポンプ室の底板側壁動励起における諸元を整理してございます。
0:32:10	右側に既設部材補強部材、
0:32:13	それぞれの厚さと Ccb の径また部材厚さ比較ということで、既設部材と補強部材の厚さを比較してございます。
0:32:21	こちら着目いただきたいのは、既設部材を一番補強部材の添通とするときに、すべての部材において設置盤既設部材が大きいことが、
0:32:32	確認できます。
0:32:34	こちらについてはまた後程別途
0:32:36	御説明いたします。
0:32:39	ページ前後して申し訳ございませんが、1 ページ目にお戻りください。
0:32:48	今回既設部材という補強部材は一体益として考慮する設計は先行プラントで実績がある。
0:32:55	トンネルシヨントンネル標準示方書に基づき、せん断耐力を賛成しておりますが、
0:33:01	既設部材汚水 CB 補強していることから、Ccb 工法のせん断耐力の補強効果を示す。
0:33:07	有効率、 β_{aw}
0:33:10	考慮したせん断耐力に着目し、その影響の確認を行ってございます。
0:33:16	確認は今ほど御説明いたしました既設部材 Ccb による耐震補強を行った後に 8 月行った部材を対象に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:25	数値解析によりせん断耐力評価し、トンネル標準地方で3されるせん断耐力に有効率ペーパーグループを考慮したせん断耐力
0:33:33	こちらもあることを確認することとしてございます。
0:33:37	トンネル標準示方書に基づく耐震評価に有効率、 β_{aw} 考慮することの妥当性、
0:33:43	及び4月補強部における性CB工法の適用性を確認してございます。
0:33:50	それでは4ページ目をお願いいたします。
0:33:57	3章でございますが、
0:33:59	茶津補強部の設計せん断力ということで、今回適用性を設計の考え方及び設計における保守性の観点から確認を行ってございます。
0:34:09	まずせん断耐力の算定ですが、こちらの考え方としましては、トンネル標準手法に基づくせん断耐力の考え方についてまず御説明をいたします。
0:34:18	1ページをお願いいたします。
0:34:23	次ページ添付7-3図として、補強部材特設部材は一体平気とした。
0:34:29	せん断補強金が負担するせん断耐力の考え方を示してございます。
0:34:35	上側にしき三つございます。
0:34:38	チェック式三つございまして、設置盤とつつうの関係でこの三つの好き採用する式が変わってきます。
0:34:46	一番が既設部材を設置する補強部材となりますが、先ほど3ページ目の表でお示しました通り、既設の
0:34:55	部材のほうが補強部材も厚いことが確認されておりますので、三つあるうちの一番上の赤枠が該当しますが、仮に12の認識。
0:35:05	こちら用いて行います。
0:35:07	第1項、こちらが既設部材第2項が既設部材の説明になってございまして、
0:35:14	既設部材ではコンクリで保全示方書2012のせん断耐力式、
0:35:18	補強部材はど低圧の比率で提言をさせているせん断耐力
0:35:24	この場へ鉄筋が負担するせん断耐力というものでございます。
0:35:29	次ページ、6ページ目ですが、添付7-4の図には、
0:35:34	次にコンクリートが負担するせん断耐力の考え方を示してございます。
0:35:39	こちらは特設と補強の部材に時ベル鉄筋今回
0:35:44	配置してございます。
0:35:46	そのため、一体として扱うため、
0:35:49	一体の開発としてせん断耐力を算出してございます。
0:35:54	今回すべる鉄筋の設計の詳細につきましては、別途海水ポンプ室の耐震安全評価について御説明をいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:06	続いて者と補強部の既設部材にCCb補強を行う場合の設計せん断耐力の考え方について御説明いたします。
0:36:14	既設部材にCCb補強を行うため、次のページに示します敷地の第1項、
0:36:22	はい。
0:36:23	に示します通り適切部材のせん断補強負担分にccベンノで効率 β_{aw} を考慮します。
0:36:31	3号海水ポンプ室の通り有益というものは、既設部材を両側から掃気をしてございますが、トンネル標準示方書では二つの部材のせん断耐力の構成式を示していることから、
0:36:42	保守的に片側の増し厚部材のせん断補強効果のみを考慮して、せん断補強鉄筋のせん断耐力を算定してございます。
0:36:50	両側の部材を水に片側だけ見ますという整理でございます。
0:36:56	8ページ目をお願いいたします。
0:36:59	設計の保守性ですね、設計の補正はshall補強部に、CCbを適用する場合の設計においては、
0:37:06	先ほど示しましたトンネルでしょう全焼に基づき部材厚の比率に応じてせん断耐力の低減を考慮します。
0:37:14	また、
0:37:15	4月等を行わない部材と同様に、CCbを行っている部材では調査中0.8制度というように、安全側の評価としてございます。
0:37:26	次のページをお願いいたします。
0:37:30	9ページ目以降は、CCb工法の適用性に関する数値解析検討でございます。
0:37:37	CCb工法を適用したシャツ補強部の耐力線形解析により算出されるせん断耐力がトンネル標準示方書に基づく評価式へ移行率0度を考慮した実験耐力あまり保守的であることを確認してございます。
0:37:52	検討対象は、海水ポンプ室と第3号海水ポンプ室でございますが、第3号機海水ポンプ室は、両学科補正も4月補強を実施しておりますが、
0:38:02	片側だけの負担ということで保守的な設計をしているため、今回、海水ポンプ室から選定してございます。
0:38:09	対象部材は、
0:38:11	先ほどお示しました3ページ目の表に示す部材のうち、部材圧が大きく不在の前面にCCbが配置される底盤としてございます。
0:38:21	解析昭和材料非線形解析、
0:38:24	取ってございます。
0:38:27	続いて解析モデルです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:29	解析対象の部材は下に海水ポンプ室の断面図及び拝見と示してございますが、
0:38:36	赤枠部でございます。
0:38:39	添付資料の 2。
0:38:41	で実施しておりました材料非線形解析と同様の方で 10 ページ、添付 7-6 図の通り、モデル化を行ってございます。
0:38:51	なお既設部材と補強部材の接合条件を滑る投入位置付近で一体わかっているこれから合計としてございます。
0:38:59	次のページをお願いします。
0:39:02	荷重条件ですが、荷重は海水ポンプ室の評価において三次元静的材料非線形解析られた断面力を表現できるかじを与えてございます。
0:39:12	なお本荷重は、改正ポンプ室の補強検討時の改善のための生産を予定してございます。
0:39:20	破壊判定基準ですが、添付資料 2 と同様に、
0:39:24	荷重変位曲線の急増点。
0:39:29	Aが増加する直前のかじをせん断耐力としてございます。
0:39:33	最後に妥当性の確認としましては、せん断耐力がトンネル表前章の評価式に有効率 β_{aw} 考慮したせん断耐力を上回ることを確認します。またあわせて解析結果
0:39:46	のひび割れ図や変形状態、そういったトップものが特異な状態となっていないことを確認してございます。
0:39:53	次のページをお願いいたします。
0:39:57	次のページには数値解析結果を示してございます。
0:40:01	添付 7-2 表にせん断力の変位の関係図、
0:40:06	7-7 図に赤い字の
0:40:10	7-7 図にせん断力変位関係図 7-8 図 2 ひび割れ関係図を示してございます。
0:40:17	7-2 表ですが、
0:40:19	上段からせん断耐力式、数値解析比率ということで示してございまして、右側のせん断耐力示してございますが、コンクリートと鉄筋部分と分けてございます。鉄筋負担分と設計せん断耐力とともに、十分に上回ることを確認してございます。
0:40:36	また、せん断力変位関係増見ましても一定の割合で増加しており、
0:40:41	得意の点を見られませんでした。
0:40:44	また、7-8 図に示します通り、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:46	ひび割れ図も示してございますが、部材全体にひび割れが分布しており、CCb補強を行った既設部材増し厚を行った場合に積一体として挙動することが確認いたしました。
0:40:58	はい。
0:40:59	続いて 12 ページ、まとめでございます。
0:41:03	材料非線形解析による設計せん断耐力は、トンネル標準示方書の評価式に
0:41:08	有効率計食べる考慮した設計せん断耐力を上回ることを確認いたしました。
0:41:13	また、変形図 4 ひび割れ状態も特異な状況は認められておりません。
0:41:19	以上から、補強をこの部材CCbを適用した場合においても、トンネル標準書に基づく耐震評価に有効率 β_{aw} 考慮することの妥当性及び社長胸部におけるC Cb工法の適用性を確認いたしました。
0:41:32	なお設計だつてはCCb補強を行う部材のせん断破壊に対する照査値は 0.8 程度に抑えることとし、設計せん断耐力に対してさらなる裕度を確保することといたします。
0:41:44	添付資料の 7 の内容は以上でございます。
0:41:48	次に添付資料 8 ございますが、さっきの説明通りとなります。
0:41:53	以上で説明を終わらせていただきます。
0:41:59	はい。規制庁浮上で説明のほうは以上ということでこれからの質疑応答に関するちょっと流れをちょっと今させていただきます。今期末質疑応答についてちょっと一応こちら側でも、今回の資料を見た上で、
0:42:15	ちょっとこれ重点的に確認したほうがいいかなというものを優先的にちょっとさせていただきますので、こちらが事前に資料を見た限り、重要度など思ってるのは店舗-7
0:42:25	増厚補強部によるCCb工法の適用性ですか。
0:42:29	これについてはちょっと許可とも大分変わってますのでここでひとまず大きい点を添付がについて確認した後に、添付 7 に関する細かい内容をやらさせていただきます。それから終わったらあとその他の添付の 5 だとか 6° とかの引き継ぎ事項ですか。
0:42:46	天然会社の人事させていただきたいと思います。
0:42:50	では添付の 7 に関しますてええと、ちょっと私のほうからですねちょっとet. 軽いのまず聴いた上でちょっと 1 点ちょっと今後、こういうのを整理したほうがいいんじゃないかといいをさせていただきますと添付の 7 のですね、まず 1 ページを
0:43:10	参考 6、添付 7-1 ページをお開きください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:13	これちょっと、ちょっとまだ1回軽い確認なんですけどもこのはじめにのところの第一段落の上から4行目から書いてある既設棟補強一体として考慮する設計は先行プラント実績と同じ
0:43:28	EFに変えてそれが結論としてどこにかかっているのかがちょっと見えず、要は1回としているものが、
0:43:38	先行プラントとして何かありますが具体的にせん断なのかバリアのかがちょっといまいちどこにかかっているのかがちょっとわからなかったんですね私がいろいろと見てもしかして限界のことを言っているのかなと思いつつ、要は確認したいのは
0:43:54	これは一体としてやったものが先行実績あるっていうのはどの範囲なのか、仮にせん断も考慮するとしてもせん断についてちょっとより詳細には見させていただけますけれども、まず1点目、ここの記載とどこを指してるかがちょっと説明ください。
0:44:16	東北電力ホリミです。一体壁でコール先行プラント実績ですが原告の話であって玄海と柏崎
0:44:26	こちら二つでございます。
0:44:28	規制庁浮上するとこれはちょっと委員も一つ確認ですけど、その線一体として、トンネル標準示方書を使ったっていうのは、と言われた後すぐ後施工のせん断と。
0:44:43	既設の壁を今回の女川のものに対して適用している。そこまでかけているのかそれともなんか持つ部分的なところで実績があるのか、そこでどうなのかがちょっといまいちこれから見えなかったんですけどそれいかがでしょうか。
0:44:59	東北電力イトウです。すみません先ほどの人先行実績ちょっと補足させていただきますと、島根2号の防波壁
0:45:09	についても、まず、工認実績は出てないんですけども積極懇談会で既設防犯一気にもし圧補強という形で抵当追加のコンクリート部分を追加しているという実績があります。それで先行プラントの実績といいますのは始発補強をしてそのせん断耐力をこの式で、
0:45:28	評価しているというのが先行実績でありまして、その既設の部分にCCbを使っているというのが女川初めてというそういう説明になります。
0:45:38	規制庁フジワラですとまだ許認可が終わってないものはぶつからなくても結構なんですけども、今の意義はCCbと組み合わせるが初めてだったら、CCb以外のものはあるんだっていうのはちょっときちんと整理いただきたいと思うんです。
0:45:55	確かに私はしている玄海のほうでは何か

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:58	あつちは剪断について何かそういう部分が既設のやつは無視性能気もしたら もしかしたら
0:46:04	或いはマルチ言葉だけをもしするのかもしれない。もしかしたらそこをちょっと きちっと整理じゃいただきたいのはまず 1 点それじゃまたお願いできますか。
0:46:17	以上です。了解いたしました。
0:46:20	規制庁フジワラです。私の方からちょっとまた本題に入りたいと思います。今 回のようなCCbと組み合わせるもの。
0:46:32	或いは既設の増厚するっていうのはもうちょっと何か丁寧な説明が欲しいと思 いますので、今回規格基準として、この添付の
0:46:45	74 から 7-5 とかでもいろいろ書いてある、トンネル標準示方書っていうふうに 書かれているものですか。
0:46:52	これについての規格基準の適用性というのはもうちょっときちっと整理したほう がいいのかなというふうに思ってます。ちょっとまた後で詳細はいいますとまず 私のかつて行ったといいますね。
0:47:04	大きくだからまず規格基準適用性をまず今後示して欲しいですね、二つ目とし てはそのせん断補強のメカニズムの観点から事務鉄筋の設計というのをきち っと示して欲しいというのは 2 点目で、3 点目としては
0:47:18	今回の補強工法っていうのがメリットとかデメリットあるほかの補強工法と比べ た中でいろいろ悪影響だとかメリットデメリットあると思うんで、それがちょっと 整理して欲しい。基本はその大きな三つについて今後整理くださいっていうの が、大きく三つで、
0:47:35	じゃあ、その三つの事故各 1 個ちょっとまた解説していきます。
0:47:40	一つ目の規格基準の適用性とこちらのほうは、トンネル標準示方書がです ね、第十二章のまちか連続決起っていうの本体で利用したのを使う、使って 適用可能っていう話を
0:47:56	うんですけど、ももとの規格基準適用範囲に今回のやつが入ってるか、或い は
0:48:02	ちょっと何か留意点とか、そういうのがきちっと反映されてるかっていうのはち よつとわからないのでこきちっと説明を加えるべきだろうというのがイトウ、こ ちらの絵と思っているところです。今一番気にしたやっぱ後れるところですよや っぱり結合の部分っていうのが、
0:48:17	これ先ほど御説明にもありましたように、海水ポンプ室の計算書で示すますと は言ってますけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:25	そもそもの方針としてきっちと琵琶湖こういった観点で地面鉄筋を配置しますと別に今回のCCbの計算のところ業務で示されても結構なんですけども、こういうふうな形で時ビルを配置します。
0:48:40	そういうのがちゃんと説明はいただきたいんでそういったのを踏まえるとやっぱこの一体性というのがきっちとできるだろうっていうのは思いますので、
0:48:48	そういった結合方法っていうのが、
0:48:51	また基本法に戻るんですけどトンネル標準示方書のやつと何か同じように本当に扱えるんですかね。
0:48:58	だからその重要性とか機能性
0:49:00	ていうのを比較させながら
0:49:02	示して欲しいと思ってます。もしくはそので、
0:49:06	資料とかいろいろありますよね、壁に求めると度目のように、いいように用いたものが本当に転用するとか、そういったのもあると思うんですけど。
0:49:16	今回もそういった違い、例えば壁に作用する応力だと違うとかっていうのもあると思うんでそういうのをちょっときっちと。
0:49:25	整理してあのような適用がちゃんとできますよっていうところがこれ機能とか重要性の観点ではそういうふうに
0:49:32	説明ください。
0:49:35	そういったものがあるという今度機能とかですけど、そもそもの本体の排気飲料とかが、
0:49:43	全部均一になるんですかね、問題っていうのがありまして、例えば、
0:49:49	増厚分だけすごいガチガチの鉄筋いるて既設部が何か、すかすか或いは始めるのとこだけすかすかとか三つの鉄筋の量せん断補強だという指摘に結構なんですけど、そういったものが均一と聴いなんかやるやらないといけないのかと思うんで制限ところがなかなかちょっと見えないので、
0:50:08	そういうのは、規格基準等でもしきっちとなされているとすれば説明ください。
0:50:14	それでは規格基準とします一つ目。
0:50:19	あとトンネル標準示方書以外で何かこう、
0:50:24	なかつ私注意しないといけないよねとか留意点っていうのはなかなかちょっと今見えないので、1回そういったほかの規格基準等から見て中増厚時におけるせん断耐力のちょっと1回さっと見て欲しいと思ってます。
0:50:39	私が知ってやつなんか道路境界日本道路境界の既設道路今日基礎の補強に関する説明資料だとかいうのは究極フーチングの補強に関する記載がちょっとあったんで、そういったのをちょっと横目で見ながらへと留意点をちょっとする。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:55	サラッと全部洗い出して欲しい。
0:50:58	その後、時基準等の観点です。
0:51:02	大きな一つの異常で。
0:51:04	大きな二つ目、せん断補強のメカニズムのほうに関しまして、
0:51:09	こちらのほうは、もし規格基準等でそういった何か条件等がないんだったら、逆にそういったメカニズムをきちっと明らかにした上でこういうふうな欠乗結合条件を
0:51:21	考える或いは増設つう増厚部分についてはこういうふうを考えていてもきちっと示して欲しいというのが大きな趣旨になりますので、
0:51:29	具体的には増発等、既設部とそれぞれですね、主鉄筋とかせん断補強的な配置を踏まえて、TRACE理論っていうのが多分あると思うんですよせん断補強のせん断の考えの中で、
0:51:43	図、
0:51:44	普通のプラスだと要は所上の梁と下の針をつなげばトラスだけで説明できるんですけど今回の場合だと多分中間にもう二つぐらい追加されると思うんですね。
0:51:56	そういった二段構えの飛ばすに対して時ビルでそれぞれのトラス引きつなげるような形になろうかと思います。
0:52:06	そういったせん断補強のメカニズムですね、きちっと明らかにして欲しいですねそういったのは明らかにした上で、それが一つと補強のやり方は合理的であると。
0:52:19	いうふうな形にして欲しいなとか、多分そういった感覚とCCbの水圧による端部定着長が何かもしかしたらあまり
0:52:28	そしたら影響はないのかもしれないんですけど、そういったものもきちんと踏まえてメカニズムをきちんと整理して欲しいです。
0:52:35	そんな推論の腰痛の条件を満足するために、加藤。
0:52:43	瀬戸信金の結合部の条件ですか。
0:52:46	実際にその事例できちっとその荷重を伝達させないといけないんだったら、それはきちっと
0:52:53	どういうふうなと先キクちんどこで申し上げました方針的なものに繋がると思うんですけど。
0:52:59	どういうふうな荷重がかかるかとか或いはせん断だけではあんまりとか下面の方がですね。
0:53:05	それと今、今回はお示し底盤だけ示してもらったんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:09	海水ポンプ室のその上のほうの壁とかあって、鉛直力も高かったりして、或いはマーケットかかったりしてそんな複雑な条件もちゃんとクリアできるんですよってというのはちょっとまた見てそれCCbなくてももしかしたら海水ポンプ室の御説明なのかもしれませんけど。
0:53:26	ちょっと方針だけはちょっと今見ておきたいなっていうのが、そういうメカニズム3系統、
0:53:31	あとはそういった状況を仮定した条件を今回の解析でいろいろと示されていますね、解析でこれは
0:53:43	添付の7-10ページ以降でいろいろ等、
0:53:47	解析モデル化してますけどそういうメカニズムがこのモデル量でちゃんと表現できてますよっていうのは、これまたちょっといろいろ組み合わせて説明して欲しいと思ってますんでその中では、
0:54:00	今後示ビューアーも合田から御決議するっていうのはさくり書かれてるんですけど、本当にそれでちゃんといいわれているのかとかいうのはご決議しない場合はどうなのかとかいうのもあるのかもしんですけど、ちょっとまた別のものから指摘あるかもしれんですけど、そういったそのモデル化の考え方。
0:54:16	或いはそういうのをちゃんと解析で表現できている解析が妥当ですよ。
0:54:22	ていうのをちょっとまた見せて欲しいの大きな二つ名は
0:54:26	以上ですね、最後の三つ目の
0:54:30	メリットデメリット。
0:54:33	これはですねとそもそももう許可と大分
0:54:37	何か許可で聞いた話大分増使う増えて何でこういう導通しないといけなくなったのか、それによって、
0:54:46	得られる効果或いは悪影響がメリットかデメリットですね、あると思うので、そこをちょっと部材部位ごとにちょっと御説明欲しいの例えば底盤
0:54:58	或いは海水ポンプ室の上の
0:55:02	添付7-9の配置図がありますので、その
0:55:06	側壁の上にちょっと何かちょっと
0:55:08	壁が乗っかっているてそこに増厚分が何か。
0:55:12	あるんですけどもこういったものがこういうふうな
0:55:15	しないといけなくなったのかっていう理由、あと、それが悪影響ですかね。
0:55:22	これのメリットデメリットという断面評価としてのメリットデメリットもありますし、安全機能に対するメリットデメリットというものもあると思うんですけど、例えば貯水量を減らしちゃうっていうのはこれで安全機能に関するメリットデメリットですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:37	ですね私申し上げられなくメリットデメリットの部材設計上とあとそれと安全機能に対するメリットデメリットをきちっと
0:55:45	整理欲しい。
0:55:47	というところですね。
0:55:49	以上がちょっと大きな3点とあとそれに関する細かヘルツといいましたけど、これに関して、いかがでしょうか。
0:56:03	東北電力イトウです。了解いたしました3点でも了解いたしました、まず一つ目につきましては許可基準の適用性ということですが、
0:56:13	これもともとと仮説である地区鉄道とかのですね値カー地中連続併記を本設利用すると聴いの移行は
0:56:26	こういう設計方法考えなさいというところで作られているものであって、もともとですね我々の場合はもう当初からの仮設とかではなくて懇切として作ってるところに、さらに同じ目的で射出をするので、その辺が
0:56:42	適用性という点では問題でもともとつしとんでる標準示方書では想定してる状況よりは本来的な目的でましょされてるのかなと思っております。いずれその辺、
0:56:58	説明をさせていただきますとちょっと
0:57:02	そこなんですけども、鉄筋が均一なのかというのがですね、7-9ページに排気員数、
0:57:10	変わっても、
0:57:11	ちょっと既設部分の的な抜けているところとか気にされてるのかなとも思うんですけれども、これちょっと小さく※書きで書いてますけれども既設部のせん断補強金CCb補強を示すということで、これ以外にもほぼ戦略部って入ってるんですけどちょっとそこが表現できてないので、
0:57:30	次回のときには、全体の戦略金も示すように修正をさせていただきます。
0:57:38	二つ目の当センター付近のメカニズムですが、
0:57:45	おっしゃられた通り取ら数が20になっているような構造ともたら推論が二つ重なってということになるんだと思うんですけれども、その辺の数値解析等も含めてですね、メカニズムをわかりやすく説明するようにさせていただきます。
0:58:04	三つ目、メリットデメリットですが、必要になった理由としては曲げに持たないので、有効性を稼ぐということで不在の地層を例に出ているというのが第一義的な補強の目的になります。
0:58:20	CCbのところにつきましてはせん断耐力式で8割照査値の8割に抑えるという制約もありますので、8割に押さを抑えるように、当課、
0:58:35	違う、すみません、CCbのところ8割と

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:38	概ね弾性に抑えるという制約がありますので、そういう概ね弾性にCCb施工した所おさまるようにシヤツ方しているというところがあります。その辺で部材ごとにですね。理由を説明をさせていただきます。
0:58:54	あと悪影響ですけれども、おっしゃられる通り冷凍貯水量の引き波時の貯水量が減るであるとか、当ポンプ。
0:59:05	側壁の水路幅が狭くなっていますので、ポンプの吸込に対する影響とかもありますので、その辺の整理をして説明をさせていただきます。以上です。
0:59:19	本店から鉄塔のサイトウですけれどもその補足としてつけてもよろしいんですけど、とマグマのメカニズムに関してなんですけども、条線のおっしゃる通り、別のビルの考え方をちょっとそれを補強して説明させていただきます。
0:59:38	今回NB-12 ページで日より引けるというのを示しているんですけども、この辺の費用状況だけではなくて、少し電鉄的なところも荷重の伝達的なところもちょっと
0:59:53	考察も加えまして説明させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。以上です。
1:00:00	。
1:00:02	規制庁浮上です。何となくお話は通じてるような気がしますと今後そこは、はい御説明くださいいれませんか本当のメカニズムはちょっと
1:00:13	発し奪うできればそのせん断補強の端部CCbの端部定着とかそこら辺も多分何かあんまり関係ないような気が付つき申しますけどせっかくだから、CCbのどこですかね、着目してもらえたらありがたいですね。
1:00:30	今年の方とりあえず以上ですか他に本件に関して、
1:00:41	規制庁の
1:00:43	規制庁の三浦です。
1:00:48	それとちょっと私のほうから、じゃあ、添付資料7で幾つか確認をさせていただきます。
1:00:55	さっき
1:00:56	1 ページで、
1:00:58	大飯と柏崎でしたっけ。
1:01:00	で、
1:01:02	玄海でしたっけ。
1:01:04	補強した実績があるんだってこれ目的補強した目的は何能力に対しての補強。
1:01:11	なんですか、曲げ軸力、面外せん断面内せん断
1:01:19	本店回答をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:25	少々お待ちください。
1:02:06	東北電力の斎藤です。見えなくなったというふうに記憶してはるんですが、再度日とちょっと確認させていただいて説明させていただきたいと思います。ちょっと私が確認したかったのは、今、
1:02:24	先行機で、それはどういう目的で、その補強がされていて、それと女川の凍土繋がりですね。
1:02:32	女川と対比していただいて目的が必要なのか。
1:02:35	ポイントにする応力場が違うのか、ちょっとその辺は整理して教えていただけますでしょうか。
1:02:44	京都銀行の斎藤です。承知いたしました。
1:02:47	お願いします。
1:02:49	あと、
1:02:50	これは本当に単純な質問です。7-5 ページですか。
1:02:58	この済みテーマ既設部材と補強部材っていうのはあるんですけど、これはせん断奥行き勤労っていうのは、例えば補強部分は既設部分よりもせん断補強量を多くするとかしないとか、そういう規定はあるんでしょうか。
1:03:15	規定がないにしても女川ではそういうことを考えてるんでしょうか。
1:03:25	本件のほうでは一部回答お願いします。
1:03:34	東北電力のキクチつつ、
1:03:36	既設部分と補強部について、ちょっと戦略局鉄筋量をバランスをどうするかというような規定はございません。
1:03:44	以上になります。
1:03:47	今回ラガーでもその辺というのはプロジェクトが元へばいいということで、保育剪断による決められてるという理解でよろしいでしょうか。
1:03:59	キクチですね、皆さんおっしゃる通りという補強部分と、既設部分で特にどちらを多くするという事は決めておりませんで、当耐力を満足するような補強を実施しております。以上になります。
1:04:14	規制庁の三浦です。理解いたしました。
1:04:16	それとあと、フジワラの方からもお話があったんですが、今の 9 ページ。
1:04:23	のを海水ポンプ室のその最上部の。
1:04:28	神戸ルールの部分なんですけど。
1:04:31	この絵を見たときに、その神戸の部分に、例えば竜巻のほうねとか何かわかりませんが、局所的な応力入ってんで、海水ポンプ室の側壁に何らかの曲げなり何かこう生じてそれに伴って面外せん断が生じるということでの補強のかするんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:48	それだとすると、この神戸部分だけに、CCb売れてるかちょっと妙な感じがして、むしろ不納接合部にもCCbを入れなきゃいけないんですがそっからいくつかが下がったところまで
1:05:03	CCbを入れてこないと理学的に何か設計ができてないんじゃないかという気がするんです。その辺いかがでしょうか。
1:05:13	東北電力イトウですすいません来ベルではなくてですね。うち内部内側の補強の梁になります。7-2 ページ。
1:05:23	2A棟の上にですね
1:05:27	図添付 7-1 図、海水ポンプ構造図ということで平面図がありますけれども、ちょっとこの水色で塗っているところが内側の梁。
1:05:37	側壁の内側に補機ポンプエリアの鳥がずっと内側に張りをつけておりまして、これ外側からどの動圧によってこのスパンが内側にはらみ出してしまいますので、
1:05:50	それを補強するために
1:05:54	内張りをつけてるもんですから、竜巻ネットで投資消防個々の日ちょっとわかりづらいんですけど、小さいマルの左側に四角が書いてあって、これはと竜巻のネットの神戸る。
1:06:07	になります。
1:06:11	このベルにのぼりを渡してその上にネットが乗るといふ。そういうことになってます。すいません規制庁の目指す 7-2 ページで見ると、右上に断面図ありますよね。
1:06:25	そこで、
1:06:26	頂部に水色で記載されている部分っていうのが左側のこのはりっていう意味なんですね、ブルーの
1:06:35	ふうん。
1:06:38	そうすると、これはあれですか、単純にここで示されている。
1:06:43	CCVの補強部分ありますよね、施工箇所、これは、
1:06:48	あまりこのはり能力なんだこうだではなくて、
1:06:51	単純にこの人側壁に生じる応力でせん断がもたないから入れたっていう理解でいいですか。
1:07:00	東北電力イトウです。ミウラさんの方の御理解の通りですちょうど支障に隔壁があって支障になりますので、その外側のどう使ったときにここら辺のせん断応力が来せん断力が厳しくなりますんでそれに対してCCbを入れていると。そこを0、概ね弾性に抑えるために内側に針を入れて、
1:07:19	勉強されているという、そういう補強になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:22	規制庁の三浦です。
1:07:24	理解しました。結構です。
1:07:27	あと7-11ページなんですけど。
1:07:32	ここで
1:07:35	添付の7-2表があって解析結果が出てますよね。まずこの数字の確認なんですけど、
1:07:43	数値解析の結果っていうのは下で示されているせん断耐力1万3028kN、これを部材係数1.3で割り込んで設計用せん断耐力を出してあって、コンクリート負担分つうのは某常識のコンクリート負担分が961で、
1:08:02	数値解析ビジョンそれ同じとしてその1号2級から96一応引っ込んであったが、引いたやつが鉄筋負担分という理解でいいですか。
1:08:14	イトウです。今おっしゃられた通りです。
1:08:17	はい。それでですね、ちょっと気になったのがですね、せん断耐力棒状の式ですよ。
1:08:25	この形状を見ると、ディープビーム部だと思うんですよ、ディープビーム式でせん断耐力を求めたらどうなるか棚からてます。
1:08:38	6.6イトウです。ディープビーム式では求めてませんけれども当然DB物品ビーム式のほうがせん断耐力が大きく、
1:08:48	でもそのペレットここでも同じく
1:08:53	防護部材式でせん断耐力を評価するという方針でせん断耐力評価式を記載しているものです。規制庁の梅田です。ちょっと新しい溝支店はこれディープビーム式でやるのが実情には使えるものだと。
1:09:10	今言われたようにせん断耐力式を棒状出るのは、それは保守側なので全然構わないのですが、
1:09:17	数値解析の結果がむしろディープビーム式と対応してこないとおかしいのかなと思ったんですが、日部分いう式で求めてやって求められているせん断耐力がずっと数値解析のほうがもしもアンダーでくると。
1:09:33	やっぱりVmとしての何かの機構が欠けてるのが解析結果として表れるような気がするんですよ。
1:09:39	なので、一つお願いは別途DB物品式で計算をしていただいて、数値解析の結果と比較してやってコンプラバーまああの既存式と数値解析西側もほぼ同じだということでもいいと思うんですが、
1:09:55	数値解析のほうがもし問題が出てくるのは少し考察を加えていただきたいんですがいかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:03	東北電カイトウです。イトウ了解いたしました本店側で補足あればお願いします。
1:10:15	当然力のサイトウです。
1:10:17	イトウ審議会いたしましたので、特にこちら、こちらの方から補足ありませんので対応させていただきます。以上です。
1:10:27	よろしくお願いします。規制庁の三浦です。あともう1個だけなんですけど、今これ苦痛試解析の例として底部校へと解析をされたんですね。
1:10:38	隔壁っていうか、
1:10:41	導入平気っていうんですが、この部分はまた増厚増厚されていてCCVと本番になってると思うんですが、その部分はとり直さなかったっていうのは片側しか見ないからも完全保守的なのがあるかとかそういう理由だったんでしょうか。
1:10:56	東北電カイトウですええと、今ミウラさんのおっしゃられたまさにその通りです。わかりました。結構ですが、先ほどの底面ビームの件、よろしくお願いします。私から以上です。
1:11:12	規制庁フジワラです。ちょっと私のほうから添付7のちょっと細かいところだけさせていただきます。
1:11:23	添付7ー
1:11:27	当期そうですね、3店舗の3ページ。
1:11:33	細かい表が71評価っていうコード場所とかせん断スパン比をいろいろ整理されてるんですけど、ちょっとこれは別に聞くだけなんですけどこれからあんまり
1:11:44	これはあまり関係ないっていう理解でいいですよっていうふうには要はさっき言ったようにプラスが実際二つあってどれが有効だからだとか、或いはそもそもDBMT何をもって10分トレンドとかなんかがなくなってきたんで、そうそういうのでいいですよという確認だけなんですけど。
1:12:03	東北電カイトウです。基本的には緒元を並べたというのと、トンネル標準示方書に基づいてせん断耐力式が緒元をもとに出してますというそういうイトウで、
1:12:18	記載をしております。規制庁フジワラです。それは、トンネル標準少々dBわんとDⅡとか、いろいろ成果されてる図2中示されてたり、或いは組織の中であるんですけど、ここだとなんか
1:12:34	有効応力再リリースかけなくて、実際どっちの有効だったんだとか、これにと多分どっちかってるかなんか。
1:12:42	どっかの有効だとかを使っているような感じがあって、或いはもしきちっと整理する主体になったらDアンリツとかをきちっと整理して欲しいなどは関係なかったら、それは関係ないですっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:55	何が近くてもらってもいいと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:13:01	すみません、この図 5-5 の上のところですね一番三つ。
1:13:13	添付 7-5 ページ、今、フジワラさんが御指摘した図なんですけれども、部材の上のところにですね一番一つ
1:13:25	と書いてこれ部材厚になりまして、Dは5日夕、
1:13:30	高高になりまして、この一番五つと、表の厚さ一番理屈が対応している。
1:13:38	D
1:13:42	いうことはたくさんDは、この図の中ではきつと出てこないの、そのまま書いているという。
1:13:52	このサイトウですとか場所としては、一番提出を足したものが一体としてもいいということがさって意味でして記載しているものでした。
1:14:12	もちろん式場特段使ってもらっていません。以上です。やはり規制庁補助装置もそういう理解では、要は確認等がきちと書いて欲しい扱ってるものをですね、いうのがらしいので。
1:14:27	もしこの高度化サリーというのが、せん断スパン比を使っているためだけんだったらそれはそれでいいんですけど。
1:14:37	二つ線最終的にせん断スパンって何か使ってるんですけど、違うところが多分使ってないですね。
1:14:49	規制庁さっき出だから、Dとせん断スパンのばり1の中、
1:14:55	使ってないから、
1:14:57	あまりかけ見ないですよと記述する聞いてきたとするわけです。家を排除する。
1:15:03	それから、それ結構ですすいません。
1:15:06	じゃあ、次に進みまして、
1:15:12	添付の 7-9 を開いてください。
1:15:17	へえ。
1:15:20	添付 7-9 で、
1:15:23	これ数値解析の検討で置いて第2段落において、今回の数値解析はいろんな部材がある中の回数ポンプ底盤を選定しますっちゃうのがありますので、
1:15:36	この話はさっきちょっとミウラもちょっと言及はしましたけど、今これ
1:15:43	せん断スパン比という観点がちよっとあまり、
1:15:47	ないなんていうのがちよっと私の印象でした。要は今回せん断スパンちゃうやつを無理やりPuの効果が大きいものと評価をやって、それで鉄筋の分担してる人ものを比較しているっていうのはなかなかちよっとなんかあんまり馴染まない気がしたんで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:03	じゃあ、せん断スパン比色生き物がどうなんですか。
1:16:06	ちょっと私のそもそもの疑問です。で、具体的にとさっき言った海水ポンプ室の一番てっぺんに摩擦してるところですか。側壁の不履行でこって。
1:16:18	そもそもせん断スパン比がどうなのかっていうのは、日もしかしたら平面的なエゾシカ長が進みますばなのかな、結構これって、せん断スパン比で大きくなりますよね、そういったものに対しても効果が要は解析上ここが、
1:16:34	られるのか、注意がちょっと素朴な疑問ですよ。
1:16:39	何か整理しますと、今回解析でやったのは、ディープビームの効果が大きいものであってせん断補強っていう観点であります、
1:16:47	組織はあまりここがないような気がしてその最近接のなんかよく理解できないで、一方でこういったせん断スパン比が大きいものだったらまさに棒部材のやつでもって評価可能だから、要はなぜこの数値解析でこっちで開放する運搬費開放やらなかったんですかね、その説明が
1:17:06	はい、いいので。もしそれが説明できると説明して欲しいですし、解析上でしか進んで示せなかったらそれはちょっと何らかの花COツーして欲しいなっていうのは私の感想なんですけども、これについていかがですかね、要は、代表性という観点です。
1:17:26	東北電カイトウです。上野をですね式ましょ粒落とさなかったの
1:17:34	CCbが入っているところが添付 7-2 ページの平面図の通り部分的にしかCCbが入っていないので、全部楽しいひびが入ってるということでも底盤を優先したのになります。
1:17:50	ちょっと数値解析とかをするにしてもこのままCCb投資し先施工の部分がこちら全になってしまうと。
1:18:00	もっと森
1:18:02	だろう分析がしづらいなというところだったんですけども、まだご指摘Pの意図はわかりましたので。
1:18:11	通常の棒部材式で評価できるところに対する考察
1:18:15	加えさせていただきます。
1:19:09	エザキですけども、今何か繋がってますか。
1:19:14	規制庁以上ですすいませんちょっとだけ議論をさせて申し訳ないです。
1:19:20	じゃあ、ちょっとはい。
1:19:26	東北電カイトウです。当棒部材式に対する説明事項要素がちょっと足りない薄いんじゃないかという御指摘だと理解をいたしましたので、ちょっと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:41	考察を加えるかも場合によっては数値解析で側壁のところをですね、CCbないところも含めて全部CCbでモデル化するなど、そういったような形で今回TP Pたしかにディープビーム福祉も、
1:19:57	ディープビーム部材になってますので、まだ同等の内容で棒部材式が適用できるような部材に対しても説明ができるように、補足をさせていただきます。以上です。
1:20:11	規制庁フジワラです。その点はよろしくお願ひしますというにもちょっとまず素朴な疑問が私ありまして、この添付 79 本で先ほど言った側壁上部の摩擦って、
1:20:24	このせん断保険の言い方これだけしかできない理由というのが、
1:20:29	見えなかったんですね、
1:20:31	ちょっと教えて欲しいのが今のCCbというのは、この側壁の上からもうすでにもう打設済みであって、つまり設計はこれ以上変えようがないとか或いは底盤のところはやって、もうすでに水もやっちゃってるけど、
1:20:47	これがやってるとか、要するにCCb実際にもうどこでやってるかっていうのをまずちょっと教えてもらえますか。
1:20:54	明日でCCb工法を今底盤ではもうやってるか否かというのとあと、今後、上のほうのCCbの補強というのはもうすでにやってるか否か、この2点ちょっと教えてください。
1:21:09	教育電力のキクチです。今ご指摘くださるご指摘もありました底盤部分とあと補強ばりの部分はこれからの施工になります。以上です。
1:21:22	規制庁フジワラですが、CCb三つな部分も昔どうお願いですけど、すべての部材に対して海水ポンプ室のすべての部材に対してCCbはやってなくて、もしかしたら別の施設設課についてはやってるところもあるとそうそういう上位施工状況っていう理解でよろしいですか。
1:21:44	中部電力の菊地です。疼痛ことがあると申し上げますと、海水ポンプ室の中でも、すでにCCb水路部の中ですとですね実際取引ですとか社長にかかわらない部分についてはですねCCbの施工しております。
1:22:02	一方で、こちらのほうの手話通とCCbを合わせるような数値実験等で確認することが必要な部分についてはこれからの施工というふうになっております。
1:22:13	以上です。
1:22:17	規制庁上ですが施行状況については理解しましたので、今度先ほど私が大きく三つ出た最後のメリットデメリットについては、表のCCbをどうしてもここで使わなきゃいけないんだっていうのがなかなかわかりづらいとか、そこはちょっとまた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:34	施工状況も踏まえて御説明いただくとともに、底盤は何か何となくまだ以上そんな気がするんですけど、こっちの側壁の見込みって必ずしもそのCCbを使わないといけない理由がなかなかちょっと見えづらかったんで、そこもまた今後津メリットデメリットのですね。
1:22:51	なんかもっと安全側の設計ができるようなものが、
1:22:56	ないのかっていうのをちょっと教えて説明をください。いかがでしょうか。
1:23:07	東北電力の菊地です。了解いたしました。
1:23:13	すみません、リングですけど少し発言よろしいでしょうか。
1:23:18	はい規制庁藤原です。お願いします。
1:23:21	今ほどのデメリットという話は今後いただいたコメントに対しましては、きちんとご回答申し上げますへ送金ですね現場のほうをちょっと十分確認いただけなかったところはあるんですけども、既設の配管とかですね必ずしも壁だけが
1:23:39	あるような状況ではございませんので、そういったマークIIについて配管系への影響とか、そういうバランスも含めて、この成立性簿を一応確認させていただいてるようなところもありますので、シート面も含めてこういった設計になっているという理由をですね、補足させていただくようにさせていただきたいと思っております。以上です。
1:23:59	はい、規制庁フジワラです今の件理解いたしました。よろしくお願いします。
1:24:09	規制庁の三浦ですけど、これ確認なんですが、定例添付7-9ページの解析を得られたこの底部というのは、CCbはまだ施行されていない。
1:24:22	今後CCbを施工してまた増厚部分をやるっていう理解でよろしいですか。
1:24:30	6年にこのキクチですね、皆さんも御理解の通りです。規制庁のみならず、ちょっと単純に考えれば、その既存分のCCVやらないです。すぐ目がせん断に対する体力アップを図るなら増粒だけで何かしようっていうのが何となく考え得る一番最初の
1:24:48	それじゃないかなというふうに考えたんですがこれやっぱりCCVれないと、これ増厚をしても、
1:24:54	結局面談面外せん断た面外せん断力に対してもたないっていう
1:24:59	ことからそういう施工手順を考えられてるという理解でよろしいですか。
1:25:06	中部電力の菊地です。皆さんおっしゃるとですねと4月分のせん断補強金を入れますけれども、それだけだとせん断耐力がもたないということで季節にも必要だという判断で、こちらのほう設置計画をしております。
1:25:23	規制庁の三浦です。結局だから4月もこれ内部要領容量かないかの間段階で4月できる長さも決まっています、そこに入れられるせん断補強量も決まって

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	るから、結局は既存分ののCCV保険に頼らざるを得ないっていうふうに理解しましたそれでよろしいでしょうか。
1:25:42	特にキクチをする。おっしゃる通りです。はい、どうもありがとうございます。
1:25:47	規制庁の小野です。ちょっと先ほどフジワラから
1:25:53	で、
1:25:54	ちょっと確認させていただきたいんですけども、デメリット等というところの関係で、
1:26:01	取水性とかお話があったと思うんですけどこれって、
1:26:05	津波側で何を影響として見てるのかっていうのを教えていただきたくて入力津波とか、
1:26:14	あと、ポンプ下端にたまる砂の堆積量とか、そういう評価って、
1:26:20	全部確認してるんですか。
1:26:41	東北電力イトウです。
1:26:45	砂移動はちょっと把握できてないので確認して回答しますがけれども、内部の水位の形状が変わることによって入力津波ですね、防潮兵器のどこまで波が上がる津浪が上がるか、その辺の再計算と、
1:27:01	あと貯水量の計算をしております。以上です。
1:27:07	電力オオムラですとちょっと中部安定的に関係の部分につきましては今回の海水ポンプ室の補強形態を反映した形で給水量の感度解析などを実施しております、
1:27:22	そういう形で入力津波の評価をまとめてございます。以上です。
1:27:32	規制庁の小野です。それはすいません。今ヒアリングでも提示していただいている資料ですべて反映できてるってということですか。
1:27:43	東北電力のウエムラですそういう補助 140MWの 1.5 とかですかね、4 とか 5 とか 2 入力津波関係感度解析関係のほうを記載してますけれども、海水ポンプ室の補強といった部分の設置許可のときからの
1:28:01	前の違いという形で、そちらに記載した上で評価上反映しているような形になってございます。
1:28:10	規制庁の承知いたしました。
1:28:13	すみません私のほうの確認漏れて申し訳ございません傍聴席の中の構造変更のところはすみません確認していたんですけども、添付室の提供のところは飛ばさせていただきますけれども、それ以外のこの入力津波由来とかの影響はもうすべて網羅的に、
1:28:31	抽出できていてそれももう御説明済みということでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:39	ふうん東北電力オオムラです。ハマボウ給付金の改正点記載変更については私も才能をキッツの中である防潮武器に平面性等も変更みたいな形でちょっとまとめた形で、
1:28:55	資料には記載しておりました。Look津波も部分、さっき共通部分についてもあそこの増し厚を含めた形で設置許可の断面よりも
1:29:10	幾らか減っているという形で、確か 4300 立米とかという形に今回のありますけれどもそれでも十分貯水可能だということも評価名刺テーマの要目表の部分をしているという状況になってございます。
1:29:32	規制庁のです。承知いたしました。ちょっと確認してみたいと思います。今御説明いただいている内容ですべて反映できているということで理解しました。
1:29:44	すいませんベンノの設計の発言の趣旨でしょうか。ちょっと待ってくれたのエザキですけども、ちょっと話がそれって言うてるんだけどちょっと私のほうからちょっと発言させていただきたいんですよろしいですか、今の話じゃないんだけど、1 個前の話ですよ。すいません。
1:30:00	まず皆さんと御後フジワラ君が言っている話でちょっと大事な話なんだよね。
1:30:09	体性一定た皆さんが言っていたそのPRA別途保護中央部分のところシャツですね、それともう 1 個が隔壁部の増し厚のところはフジワラさんが言っていたんで。
1:30:24	ここですわそれぞれまず 4 月の末の教頭CCb工法
1:30:32	もうそれぞれの期待する役割と効果、
1:30:35	部位ごとに整理してください。
1:30:39	d評価部位として載せてここで、
1:30:42	評価する検討する部位の代表性こそ説明する必要があるんじゃないかなと思っています。
1:30:49	ていいますのは、県、7-9 ページで、今説明している。
1:30:56	底盤部ルート企業ですけども、ここっていうのは基本的に言うと、
1:31:02	時レベルで一体化学習がしまいが離れたとしてもですね、多分ここ、
1:31:08	底盤がですねフルード定番が核兵器と定番と、
1:31:13	それとんで接合されてますから、二つのビーム要素でモデル化して、それぞれのせん断耐力評価式、
1:31:20	したとしてもそんなにおかしくないですよ。一方で、
1:31:26	前のほうでしたっけ。
1:31:31	県の 7-2 ページでフジワラさんがああ言っていた右下の営業断面ここで感知部分につけてるだけだから、どっちかっていうと、財団の接合処理ってやりにくくて、あまり効果が現れないのかなと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:50	もしもしどう
1:31:53	一体一体性っていう観点では自分に期待する役割ってすごく大きいんだと思いますので、一方でその次の話題のうち1のですね左上のポケットのところの補強はまたこれはちょっと異質な、要は
1:32:10	なんて言う訳8 牧場立件ですけど、ちょっとこれ済ませましたけどそういった扱いなんで、役割というところが全然違うんですよね、そういった観点でそれぞれを一つ考え方とか整理した上で、
1:32:25	米国の小っていうのは多分CCb
1:32:29	というよりほどこちかって4月の補強が
1:32:33	適切なのかによって、話が整理されるべき話なのかなと思うんですが、今後です、しっかり整理していただきたいと思うんですがいかがでしょうか。
1:32:49	出ますか。はい、東北電力イトウです了解いたしましたそれぞれの部位について、詳細に説明の上、代表性について考察することにいたします。以上です。
1:33:01	で、
1:33:03	二つ目、二つ目がですねこれも
1:33:06	そじょからも出ていたと思うんですが、もしかしたらミウラさんのほうで後からでもかもしれないんですけど、一応、
1:33:14	この点など、9ページの5-1相で言ってる、最後の行で既設部サイトウ補強部材の接合条件については、ウェル金利等により一体化を図る。
1:33:28	これは御決議してるんだけど、本当に高潔にできるんですかっていうことをやっぱり説明しなきゃいけないし、
1:33:36	多分そうだと、まず
1:33:39	既設と新設のコンクリートの間の付着は全くモデル上としては分離されてると思うとして考えるのが妥当なのかなと思うんですが、
1:33:50	個人的に実験してるわけじゃないんで、そうした時に始めるだけで一体性を保ってないと、せん断ひび割れっていうのが、そういった
1:34:01	既設と新設で、やっぱりしていかないんじゃないかなと思うんですよ、いわゆるその
1:34:07	既設と新設の間接合面が肌離れっていうかは分離していると
1:34:14	同様に剪断ひび割れっていうか、ひび割れが入っていかなくてせん断ひび割れが結局、
1:34:20	部材が縦割りしちゃう可能性、いわゆるひび割れっていうのは弱いところに進展してきますから実験的な経験からすると、そういうそういうことからすると、この事例によって一体化しなきゃいけないと、今後、実際にそうだ。
1:34:35	見通しとか妥当性の確認の上です、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:40	事務レベルで立体視一体化しているといった説明はちょっと必要んじゃないかなと思うんですよ、いわゆるせん断ひび割れがですね、一応分担されていくという話がですね伝播して行って既設から新設新設から季節柄、
1:34:54	そういったことを説明する必要があると思います。それでですね、実際にこうした場合、当時ベンノ設計っていうのは必要になってくるんですけども。
1:35:08	設計に講じるはどのように、反映されるのかっていう説明も要るんじゃないかと思いますがいかがでしょうか。
1:35:17	東北電力イトウです。今エザキさんのほうから分も分離すると考えるのが保守的だという話ありましたけれども、こちらまだ施工をしてませんので、当然我々表面一品ぐして交通合いを出した上で補強をしますし
1:35:38	資金の定着、もう定着長と低施行しようと思ってますので、ちょっとその辺の施工方法を含めて統合決でAと評価できるという説明をさせていただきたいなと思います。
1:35:55	以上です。
1:36:20	エザキですけど。
1:36:21	エザキですが、ちょっと途中で切れちゃって申し上げませんですねここに関してはですね、設計実験はしないのでなければ
1:36:31	コンクリート
1:36:33	その引っ張り強度にいわゆる付着強度ですねこれが十分とられるのかっていう説明があると、まず相当、基本的に事例で事で一体性を保つというのがもともと
1:36:49	要素の設計の概念だと思うんですが、そのときに、レベルはどのように設計するのかっていうことはある程度原子力ですから、やっぱり説明性は必要だという説明が必要だと思うんですよ。その辺はよくどう展開していくかってのはまたよく考えて説明ください。以上です。
1:37:09	東北電力イトウです。ちょっと実験データがあるかないか含めて、
1:37:16	自分の設計について御説明をさせていただきます。以上です。
1:37:24	規制庁の三浦です。これ私もちょっと
1:37:28	次Peruで一体化っていうことは気になっていたんです。
1:37:35	今回のCCVの使い方既存分と増設分の使い方って、先ほどからお話を伺っていると軸カプラス曲げに対して当面外せん断に対してだと面内せん断に対してすべて、
1:37:51	能力に対して一体化が図られる前提のもとの設計になるんだろうと思うんですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:58	これはすべての応力場が同時に働く場合を想定しても一体化が図られるって いう説明は必要だと思うんですね、その辺も含めてよろしく願います。
1:38:11	東北電カイトウです。了解いたしました。
1:38:35	規制庁フジワラ冷水イトウ添付 7 に関してええとまあ細かい話でも結構なんで すけど。
1:38:42	こちらに出勤されてる方は特にないようでしたら、分間在宅でエザキさんやなく て、タニグチさんとかもしなければと思うんですけど、いかがですかね。
1:39:00	負担
1:39:01	規制庁タニグチです。
1:39:04	聞こえてますでしょうか。はい、聞こえております。
1:39:08	はい。
1:39:09	先ほどから時メールの件が出てると思うんですけども、シベールの鉄筋の設 計の詳細については、資料の 9 で耐震安全性評価の説明をするという形にな っているように記載されてますけれども、
1:39:25	基本的にやっぱりこれを説明していただいた上で、
1:39:30	今の資料 8 とか、天端 7 とか説明をしていくような形にしていけないと、全体 の流れがスムーズにいかないと思いますので、ぜひ時ビルの方はうまく説明 をつくっていただいているので。
1:39:45	これ今やってるものと一体化して説明をしていただくようなことを考えていた いたほうがいいかなと思います。以上です。
1:39:57	東北電カイトウです。すいません。資料 9 のほうをですね海水ポンプ指数の評 価に関わる補足説明資料になりますので。具体的tの設計内容が改正ポンプ 場の資料 9 に記載されます。
1:40:16	今回それに対して今回説明をさせていただいてますの全体の共通の方針に関 わるところですので、実際には両方合わせて説明をさせていただくのが一番い いかなと思いますけれども、本資料で方針をしっかりと示した上で、実際の解 析条件
1:40:35	設計条件等を踏まえて、資料 9 のほうで改正ポンプ数のここの部分の設置状 況の説明をするというそういうたてつけになるかと思いますけれども、
1:40:49	わかりました、了解しました。
1:41:02	規制庁フジワラですと先ほどちょっと辨野さん何か話を途中で終わってしまっ たような気がするんですけど、何かベンノさんのほうから続き等あればいただ きたいんですけど、いかがでしょうか。
1:41:16	ベンノ進みませんねと簡単に絵と、先ほどの 3 からいろいろ宿題をいただい ただけをきちんと資料化いたしますけれども大分この 4 月の下部の大きさとかで

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	すね、水路部に関しては、結局喪失浪江も影響が耐津波設計の影響が大ききとして、
1:41:34	添付しておりましたのでそういう意味ですすでにオオムラが説明してさせていただいており、黄色に反映しているという状況でございますので、その辺についてはメリットデメリットの中できちんと終わらせていただきたいと思います。以上です。
1:41:51	はい。規制庁フジワラですがベンノ下がりでございますんでは願いますとともに、あとちょっと今、この説明というのは今CCbの中でせん断補強という観点で、今今日ヒアリングでやったんですけど、先ほどミウラとかエザキも言うるように、
1:42:08	もしかしたらこれはマッシュアップ全体としての何か考え方っていうものと、あと剪断についての考え方っていうの何かあまり危機的半数以内のような気がします。ちょっとその切り分け雨樋どこでどういうふうな形にするかですね、CCbとかで曲げも含めて、
1:42:23	でも突っ込んでいくとか、或いは何かどっか増厚っていう項目立てて何かそこなかなか降雨取り込んで或いはリンクを各所に入っていくとか、ちょっとそういった立て付けちょっとまた今後御検討いただけたらと思うんですけど、その点いかがでしょうかね。
1:42:40	東北電力イトウです。了解いたしました、説明しやすい人形にさせていただきます。以上です。
1:42:50	はい、じゃあ、規制庁扶助充填プール7についてはとりあえず以上ということで、訴追添付の5を添付の5、これは何でしたっけ。
1:43:02	ディープビーム的な破壊に対する適用性の検討に関しまして、いたしつつ、コメント等あればと思うんですけど。
1:43:11	こちらに出勤されてる方でこれに関するこの土地といいます。手元にはあまりないんですけどなんかもしあれば、いかがですかね。
1:43:22	規制庁フジワラですから、在宅の方でこん件分の5に関して、もし何かあるようでしたら、ちょっと御発言いただければと思うんですけど、いかがでしょうか。
1:43:35	規制庁のエザキですけど、私はちょっとコメントというよりはちょっと事実確認ということで、
1:43:41	でも構いませんか。
1:43:43	規制庁フジワラです。よろしく申し上げます。
1:43:46	県の55。
1:43:49	そのところですけども。
1:43:51	添付-5の評価、その後の表ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:56	ここで言っている。いわゆるせん断耐力っていう計算結果は、部材係数とか、そういうような安全係数は見込んだ数字各過渡だけ確認したかったんですが、
1:44:08	いかがでしょうか。
1:44:20	今確認しますので、東北電力イトウです確認しますので少々お待ちください。
1:45:15	東北電力ホリミですね。
1:45:17	すみません。
1:45:19	表 5-5 の選択式ですが、こちらの算出につきましては、コンクリート実強度部材係数 1.0CCb の有効率、 β_{aw} 効率たせん断耐力でございます。
1:45:34	なので、
1:45:35	大きいになってございます。
1:45:39	エザキの材料係数は見ないで見込まないで部材係数を見込んだっていうような
1:45:47	いうふうに聞こえたんですけどそれで立ち方でしょうか。
1:45:54	材料係数、特例見込みです。材料係数は見込んでございませぬ。部材係数は 1.0 なので、
1:46:03	提言等々を行ってございませぬ。ただ、コンクリート実強度、
1:46:07	そのあたりを用いて算出してございませぬ。
1:46:11	規制庁エザキですからそれはそれで了解しました。その辺ですね、どこかに明らかにしていただいて、
1:46:19	その上で、そう当然安全係数を見込めば、さらに小さい数字なので安全側なのはわかるんですが、
1:46:28	そこは設計に今後これを使って反映するっていうところの考え方として、いわゆる不能、安全係数を見込めばさらにより保守的な結果になるよっていうような話になると思うんですがその辺もですね。
1:46:44	わかりやすさの観点で変えていた方が書かれた方がいい起債された方がいいと思うんですが、いかがでしょうか。
1:46:51	はい、東北電力にですね、記載の充実化を図りたいと思います。
1:46:56	よろしく申し上げます。
1:46:58	はい、申し上げます。
1:47:03	はい。規制庁布田です。他ないようでしたらちょっと時間が結構たっちゃいましたので一旦ちょっと 10 分考え等休憩で次 3 時半からスタートさせていただきたいと思っております休憩で。
1:47:18	規制庁浮上ですと、ヒアリングヒアリングのほう再開したいと思います。
1:47:23	そしたら添付資料の 6 のほうから

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:27	再開したいと思います。本当だとちょっと私もこれとさくつとちょっと確認なんですけども、添付の 6-6 ページをお開きください。
1:47:40	閉等、これような感じ。
1:47:46	ここでやってる荷重解析上の荷重条件というのがまず面外で力をかけてひび割れ生じさせた面内での力をかけるというのが、順番が書かれておると、
1:47:59	そういうふうな×時荷重のかけ順番っていうのが、
1:48:03	先に何か面内荷重をかけて面外荷重をかけた場合なんか。
1:48:08	本当に凍るのがちょっとよくわからず、これが何か最下順番に影響与えませんか、
1:48:15	というようなアンカー説明をいただけますか、或いは御説明追加っていうのが結構につきひび割れが云々とかいう話かなと思うんですが、いかがでしょうか。
1:48:29	ホリミです。
1:48:30	当後施工せん断補強ということで、基本的には面外荷重
1:48:35	に対する補強になります。
1:48:37	そのための面内荷重の影響という位置付けで面外荷重を再活後に面何歳かというような手順をとってございます。
1:48:46	せん断補強金は他の荷重の作用方向を踏まえると、面内荷重を負担しないということはわかっております。
1:48:53	そのため面外かじをあらかじめ作用させて面外変形を起こしている状態においても、面内荷重の影響がないことを確認したものでございます。
1:49:03	をしており、面内荷重を先に、面外荷重ということもありますが、面内荷重を先行した場合ですと、
1:49:13	面内荷重を先行した後にめげ工事再開する場合は、面内活用鎮静に
1:49:19	でもそこせん断変形させる。
1:49:21	だけでありせん断補給金は影響ございことが想定されますので、
1:49:27	面外荷重を再開させた後に見なさ以下というような順序でございます。
1:49:34	規制庁フジワラです。
1:49:37	そうですね。ちょっとじゃあもう一步先の設備等確認も含めてちょっと御質問なんですけども、このページの下をエザキですけどちょっと発言して今の話で、
1:49:50	お願いします。
1:49:51	65 件の 6-8 ページのグラフあるじゃない。
1:49:56	このグラフを見ると、
1:49:58	面外荷重をふやして、そうすると面な変形が
1:50:04	残存していく等を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:06	面内荷重の
1:50:09	要はせん断変形が 500 マイクロですよ。500 マイクロに
1:50:15	明日ぐらいで大体、その前から共同落ちていって、いわゆるこれPBRによってセンター補強の効果が下がってるんですね。
1:50:25	これが順序が逆だと多分、
1:50:29	この効果ってわからないわかりにくくなるんじゃないかなと思うんですよ。それを今ちょっと言おうとしてるんだけど。
1:50:36	東北電力はそれがみんなに伝わってないと思うんですが、
1:50:40	東北電力がそれを疑ったんじゃないでしょうか。いかがですか。
1:50:51	特にこれMS少々お待ちください。
1:51:10	もう少しちょっとわかりやすさの観点で、
1:51:14	補足すると。いわゆる
1:51:17	d面外荷重の最終ステップが終わった後に面内変形ふやしていくと。
1:51:23	いわゆる選択公金
1:51:25	効果が
1:51:27	いわゆる、面内せん断ひび割れとともに、
1:51:31	脆化してんのかなってこのグラフだと見えるんですよ。
1:51:34	600 荷重が、
1:51:36	その面内せん断変形でひび割れを起こした状態で付着はあまり効果がなくなっちゃってるといわゆるによってそういった状態になった状態でグラフを見てもそれ 1 本だけだとわかりわかりにくいですよ。
1:51:52	それだけの差だと思うんですけど。
1:52:12	東北電力イトウです。すいませんエザキ損のちょっと
1:52:16	御発言の意図の確認なんですけれども、メインないでひび割れが入っちゃうと、CCbの効果がよくわからなくなってしまう。
1:52:28	ということでしょうか。
1:52:30	はい。
1:52:31	まずね、整理すると、今の
1:52:35	前回か注をかけて、面内変形変形を砂層型かける。
1:52:40	それによって
1:52:42	6-8 ページの図。
1:52:47	添付 6-9 図で現れるような
1:52:50	いわゆるCCbのせん断補強金における歪の変化、いわゆる名ぐらいステップ
1:52:58	最終ステップから随分下がってるじゃないですか、そういった減少してるっていうところが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:05	荷重が荷重の差異化を面内変形を最初にかけてで面外荷重をかけると。
1:53:12	こういった効果が見えないから、今の
1:53:15	最下方法のほうがより効果が欠員あらわれ
1:53:21	いるんですかって表現できているのではないかと。だからこれでいいんじゃないかということでしたらただいたんだけど。
1:54:56	規制庁補助のちょっと私がちょっとだけの話は別の観点から汚染水が添付 6-8 で面内荷重その 500 から 750%、まあ最大 750 万かけてまして、この面内荷重でそもそもどこまで
1:55:12	かけるのが正しいのかって言うのは
1:55:15	要は制限上は何か 2000 マイクロっていうふうに書かれていたけどコメント 500 通の何か実際に作業してる 500 とか書かれてるんで。
1:55:25	まだちょっとそこら辺の関係もちょっとよくわかるんですね実際先にみんな拡張じゃどこまでの荷重をかけるかとかですね、そういうのも何かわからず、もし 2000 マイクロにしたら、もうちょっと下がって、この図から見ても下がったりですねたりしてこの図だけで見ると中森。
1:55:43	面内漸増最近あんまり効果ないように、浪江、
1:55:47	2000 マイクロになるとどうなのかなと。
1:55:50	市町村に選定さあ制限 500 人した上で、今回のような御説明が一つありかなとちょっと思っております、
1:55:59	そうですねそこ辺ちょっと、もうあわせて何か今後の話を、そういう整理いただけたらと思ったんですけどいかがですかね。
1:56:13	狐崎ですけどちょっと今こう言おうと思ったことが出ちゃったんで、ちょっとさらに
1:56:19	そういう話を追加してもいいですか。
1:56:23	よろしくをお願いします。
1:56:25	富士通言うと、これはいつもその辺が引っかかっている、
1:56:29	じゃあ、
1:56:30	多分ですね、設計としてCCbを
1:56:35	設置する部材においては面内変形は、
1:56:41	ある指標値を
1:56:43	目安にしてね。
1:56:45	あそこにとどめますっていう、
1:56:47	ある程度確約は必要かなという確約するための目安をここで引っ張り出したほうがいいのではないかなと思ってます。何故かっていうと無理だと思っているから含む数値解析でやって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:03	いただいてるんですけども、実験は、
1:57:06	だから難しいだろうということで、
1:57:09	そうした経緯はあるものの、
1:57:13	実は実験してないわけですよ。だから、そういった観点から、
1:57:18	すればやっぱり数値解析だけにすぎないので、ある一定程度の保守性は、
1:57:23	必要かなと思ってるんですよ、いわゆる設計に結果を反映するためには、ある程度そういう一つの目標値みたいなものが、
1:57:34	保守的に決めておいてそ部の範囲でCCbの効果を見ますということに
1:57:42	すべきではないかなと思うんですよ。フジワラの話から極東多分そういう話になるんだと思うんですが、私もそういう話をちょっと考えていましたんでちょっとまとめて回答いただけますでしょうか。
1:58:03	東北電カイトウです。
1:58:07	扶助ルソン島エザキさもイトウしたのは理解しましたのでちょっと改めて考察をするのと同時に、CCb女川での趣旨日適用についてのCCb適用性の中の当面内変形の教育、
1:58:25	設計値として等整理をさせていただきます。なおですね今この面内、
1:58:32	荷重の500枚ことっていうのがナガノ3号機の海水ポンプ数で最大値が出てまして、ちょっとそこ今また新たな補強を考えてましたのでちょっとその辺、
1:58:50	発生値も含めると整理をさせていただきます。以上です。
1:58:58	よろしくお願いします。
1:59:08	規制庁フジワラです。この設計応答値がだけなのかちゅうのがあるもしかしたらこれから下がるかもしれないし、下層植生かもしんだと。
1:59:21	今ちょっと御留意いただきたいのは制限値という考え方は、例えばCCbの第1、或いは第2折点程度にはできが降伏しないというの制限を設けるとかというふうに書いているようなものがあると思うんですけど、それと同じような扱いをすべきかどうかっていうのが、
1:59:38	私どもが申し上げていることですよ、具体的に行くと添付資料添付計算書にちゃんとせん断Aの耐力を使う前提条件として、そういうことを記載必須必要があるもの。
1:59:53	なるやないや。
1:59:54	もっとイトウの美浜のほうでは、といった機能維持の方針ところと、添付計算がそういった制限が書いてましたので、女川のほうももしかしたらそういうのが必要か否かったらちょっときちっとご検討いただいた上でご回答IO単純に、
2:00:10	詳細計算して応答が下がっちゃいましたっていう報告だけじゃだめでしょうという理解でよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:20	東北電カイトウです。基本方針への反映も含めてと了解いたしました。
2:00:25	以上です。
2:00:28	はい。規制庁浮上ですじゃあ、こう引き続きちょっと細かい話で、添付 6-9 ページで残り数だけなんですけど、ひび割れの状況ずっていうふうなこのA断面図でプロット書かれて、
2:00:45	すごく寂しいね。
2:00:49	こういったひび割れて何かもうちょっと何か。
2:00:51	いろいろつけていただけたらありがたいなっていうのがうまく私のざっくり気づいたわけで、面外せん断によるひび割れとかちゅうのが実際どんな感じになって、
2:01:03	るのかってのが進みたいなと思ってとそのぐらいのせん断と面外の 1000 番がどんなふうに組み合わせて、どんなその日歪んって、最終的にこれを確認したいのはせん断補強効果が
2:01:19	どれぐらい耐えられるのかという多分一番の確認ポイントはですね。ですから、そういったそれぞれのひずみの量常がどれだけでこれだけに合計したこれだけだったので、結果としてそのひずみ硬化せん断補強帰られると、そういった結論ちょっとなんかできないかなというのが私の
2:01:36	思いなのですが、この件はいかがでしょうか。
2:01:48	東北電カイトウです。フジワラさんの御指摘は我々もそう思ってまして、ちょっとひび割れ図とか沢山入れなかったんですけどもちょっと
2:02:02	コスト書類のソフトの制限でですね、2 方向の日々
2:02:08	一方面のひび割れっていうのはこの 6-9 に記載のに出るんですけど、翠川のひび割れっていうのが表示する機能がなくてですね、その面内と面外のひび割れがまざってるところを、なかなかちょっと表示できないために、
2:02:25	あえて 6-10 ページではひずみのせん断ひずみの分布ということで、こうせん断ひずみの値としてこう示しているというところ。
2:02:35	になります。
2:02:41	規制庁フジワラです。はい今難しいことはわかりました。送金については以上であるとはちょっと私の方から添付 6-10 でせん断補強鉄筋のひずみ停止中室長な過去の
2:02:58	幅広い壁のうちの 1 点だけポスト出せで※進歩ですね、これでもって何かグラフとか書いてあるんですかね。
2:03:07	これはここでいいんですかちゅうのがなかなかよくわからず、さっきスポーツけど甘く場所においてもばらつきがある。例えばその壁の左っ側なんかを緑っぽいにつきどう紙の右っ側中橙色かったですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:23	中で確かに平均かなというのがあるんですけどもちょっとって例えばその壁を中韓ごとですか、Y軸方向にあると言っておくことであって、その平均値を取るとかああです結果としてこの抽出位置が代表性があるんですよ。
2:03:39	そういった説明が可能なのかっていうのをちょっと検討できるかどうかを説明いただけますか。
2:03:50	はい、東北電力ホリミです。
2:03:52	まず平面的な広がりと高さ方向の議論でございますが、
2:03:58	せん断については、いわゆるせん断の調査位置ということにベンノDという高さを下から取ってございます。あと、今ご指摘いただいた通り、6-10ページの6-11図ですが、
2:04:10	どうぞ。
2:04:11	真ん中1点だけというところがございます。今お話いただいた通り
2:04:16	境界条件等々ございます。なるべく影響のないところってところで真ん中とってございますが、その周辺でも同じようなことが起こってるってことはお示しできると思いますので、その点も確認します。
2:04:32	東北電カイトウです補足させていただきます。よって横方向の分布については、あまり意味がないと思ってまして、というのは境界条件の影響がないように幅広めにとって
2:04:48	モデル化をしております、問題となるのはええと鉛直方向の分布がどうかってということかと思えます。
2:04:57	でも、その左側の境界条件の影響があるようなところを
2:05:03	説明をしてもあまり代表性はないと思いますのでセンターで上下方向で結果が同じようなものが得られるというそういう説明をさせていただきます。以上です。
2:05:17	規制庁フジワラですけど、境界条件の影響がないところってというのは理解いたしました。そうですね私がちょっと検証がこの一つのメッシュだけでいいんかちゅうのがそもそものあれでもありますので、今上下方向はもうお願いしたいところですけど、再方向も、
2:05:34	隣のミッションはどれくらいなのかとか何かばらつき傾向がいまいよくわからないのですね、ばらつきだけでもちょっと分析いただければなと思いますけれども、いかがですかね。
2:05:48	僕電カイトウです。了解いたしました。
2:05:54	規制庁以上です。私のほうからは以上ですが、資料添付資料6に関して剂等、こちらに出勤されてる方からお願いします。
2:06:06	規制庁の三浦です。ちょっと教えてください。資料添付資料6-6

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:14	真ん中の図なんですけど、先ほどちょっと御説明なられたときに、
2:06:19	まず面外方向の線ときには、脚部が固定、
2:06:23	ですのでこれをちゃんと入れば、
2:06:25	出かけてるんだけど、両サイドはその面内作業面内と同じようにイコールローラーか視点かなんかでこうされてるんですか。
2:06:35	ちょっと
2:06:36	面外荷重を採用する時のちょっと境界条件もって整理して教えていただきます。
2:06:49	特にホリミです。国です面外荷重作用時の
2:06:52	固定 1、評価条件境界条件ですが、それを特に気脚部固定っていうふうに書かれてたと思うんですが、両サイド、
2:07:16	すま部分だと思うんですけど、こちらはフリーになってくる。
2:07:20	フリーです。
2:07:24	で、
2:07:25	それで面概算が面外荷重を作用させて、
2:07:31	それをずっとこう押し込んでいってその時の
2:07:35	最終ステップの鉄筋とかコンクリートのひずみ量があって、それを残しながら面内をかけて、
2:07:42	ひずみ等の緩みみたいなものが荷重低下に繋がるっていうふうに解析っていう理解してよろしいですか。
2:07:51	東北電力ホリミですと面外荷重再開させて、すべての応力状態を引き継いだまま面内荷重を作用させてもらいます。お話の通りです。わかりました。
2:08:01	ちょっとこれ先ほどちょっとと言いません面外荷重の境界条件とか、そういうのもうちちょっと詳しく書いといていただけますか。
2:08:10	ある意味です。承知いたしました。
2:08:12	あと、ちょっと先ほど話が別は面内荷重と面外荷重なんですけど。
2:08:19	これ
2:08:22	どのぐらい。
2:08:23	影響があるかってことですがちょっと確認をしたいのは、今面外荷重の最終ステップで荷重がありますよね。
2:08:31	で、これは当然何と棒状式よりもずっと大きな値が出ているので設計は棒状支給また 0.8 倍してやっている。
2:08:42	っていう理解でいいですか。
2:08:45	電力ホリミです。
2:08:47	お話の通りです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:49	趣味プッシュオーバー、
2:08:52	設計荷重今回入れてる火事は大きな舵棒部材よりのせん断耐力出てくる大きな赤字ですって実際の部材の設計につきましては、
2:09:00	CCbの考慮している部材はせん断耐力式の 0.8 倍に収めるという程度におさめるというような設計としてございます。
2:09:10	規制庁見れるすぐ了解しました。一つあれなんです、
2:09:16	さて夜景なんかですね、やっぱりスラブとかですね、面外浅部面内せん断を受けながら面外せん断を受けるっていうのは当然あるんで、そのときっていうのは、
2:09:29	確か面外せん断教育荷重 1.2 分の 1 かなんかするっていうプラクティスがあるんですよ。
2:09:35	かなり以降面内力が大きいときの面外せん断耐力っていうのは言われたら落としてやるっていうのは、設計上、今言われたように 0.8 ぐらいで軽減させるナンバー安全性には問題ないと思うんですが、ちょっとその辺もですね、
2:09:51	ちょっと私もどういう実験に基づいたかどうかってのはちょっと今覚えてないんですが、それなことも項の御説明には多分プラスになると思うので、ぜひ調べておいていただくと助かります。
2:10:06	特にホリミですね確認させていただきます。
2:10:14	規制庁フジワラです。添付資料 6 に関しては剤委託の方で何かございましたらお願いします。
2:10:31	規制庁いただけるけれども、先ほどちょっとフジワラのコードっていた話なんです、もう少しちょっとデータを拡充していただけないかなと思っていますが、特に今回の表の 658 兆円県 6-8 ページ。
2:10:49	図 5-9 図ですね、ここで、いわゆるそれぞれですね、ひずみが出てますけども、そこにあるイベントごとにですね、どのように、面内ひずみが面内、
2:11:05	面内変形に対するひび割れが出すとちょっと難しいという話があったんですが、その辺の進展が何かわかるような説明をちょっとさせたほうがいいかなと思っていますか何故かっていうともともとここではない。
2:11:19	内センターによるひび割れと貫通ひび割れ
2:11:23	繋がっていくので、CCbの相互ステーション力は効果がなくなるんじゃないのっていうことがもとのコメントの趣旨ですから、
2:11:33	その辺がですね、そんなに問題ないということであれば、今どういう状況で検討されているのかというのがわかるようなちょっと説明を工夫していただけないでしょうか。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:50	東北電カイトウです。了解いたしましたちょっとだろ多分数値のコンターという形で示す
2:11:58	形になるかと思えますけれども、ひずみとかを漏えい等、各ポイントごとに示しても、
2:12:06	そこに日本語で今の所どういう状況かっていうのをちょっと注書きをするような形で示させていただきたいと思えます。以上です。
2:12:17	よろしくお願いします。
2:12:24	はい、じゃあ規制庁フジワラです。添付資料6に関してはもうなさそうな形ですので、じゃあ今度、日今回のヒアリング資料全体に関してちょっと確認の方に言うと質疑のほうに入りたいと思えます。
2:12:39	私のほうからちょっと2点ほどありまして、
2:12:43	参考6-14をお開きください。
2:12:49	参考6-14角書き湖西市のほうの図ですね。
2:12:53	6-14において各型ポンプ、海水ポンプ室の断面図が示されています。
2:13:03	なんか黄色ハッチングで示しているところがCCbによる耐震補強の箇所っていうふうに書かれて、
2:13:11	これの箇所っていうのを黄色ハッチングの範囲はどうやって決めたかっていうのは、きちっと説明を
2:13:18	今後充実させて欲しいっていうのが私の願いですね。
2:13:22	解析上本当に必要なとなる範囲は解析やせん断がNGになったからいいっていうと、これは明確にして欲しいんですけど、それに加えて実際に補強を行う範囲っていうのは多分それよりもちょっと安全側を考慮し説明広げてるかと思えますので、
2:13:40	そういったため、もし起きなかった広げないっていうものも明らかにした上で、そういったのをちょっときつと明らかにして欲しいのは黄色ハッチングを何でこの範囲にしたんですかっていうのは説明欲しいです。
2:13:52	今私この64だけをパツと言いましたものの、
2:13:57	実際この断面図を見てみると何か
2:14:01	なんで班員だけなってるんですかっていうのが、
2:14:04	ちょっとわかりにくいところがあります経営とこれ、
2:14:10	むしろ、
2:14:12	そうですね、ここでそういうふうな60なかなかこうD断面のところでは何か壁が、
2:14:19	上方向立ち上がってる。
2:14:21	とかありますよね。個数でここに黄色いハッチングが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:26	町版の見方がなかったと本部長とする範囲だけでこれでこの範囲なんだろうっていうのがなかなかわかりづらかったりですね。
2:14:35	或いは、
2:14:39	そうですね。D断面、底板のなかなか抜けたり、
2:14:44	或いは6-13の段目等へだとなんか
2:14:49	何かすごい複雑な形状でなんかこう黄色いハッチングが何かられたり、平面図もそうですね。なんか、
2:14:57	もしかしたらこれここにあるから補給できないとか、様々な多分理由は、
2:15:03	不良に思いますので、そういったのをちょっと全般的な明らかにして欲しいと思ってますが、いかがでしょうか。
2:15:19	本店から同じように、
2:15:21	キクチです。せん断補強の範囲については与党海水ポンプ室をすでに作曲無線が部局が入っているところがございますので、その先施工の順番補強を反映した上で、せん断の照査を行いまして、それでも
2:15:39	追加でせん断補強が必要な場所についてはSCVれるというようなことで範囲を決めておりますので、そちらの方がわかるようにちょっと整理したいと思います。以上です。
2:15:51	はい。規制庁フジワラですが、そういうふうな施工の経緯があるようでしたらそうですね施工の経費としてそういうのは整理いただくとともにまたじゃ補強の範囲はケース解析上必要なものがこうで
2:16:05	実際はここ入っているとか、それ二段構えの御説明積なんか詰まった今後ご検討ください。
2:16:11	じゃあ、これに関してはちょっと以上であと私のほうからちょっと本当軽い話なんですけど、参考6-添付2-21をお開きください。
2:16:24	参考6-添付2-21です。
2:16:31	これちょっと単純にちょっとこれ記載だけの話なんですけども。
2:16:37	この確認結果のところの2パラ目の
2:16:41	1行目の文章ですね、ちょっと単語の話なんですけど、この
2:16:47	せん断耐力の有効割り合い、
2:16:51	この有効割合っていう単語がちょっと
2:16:54	具体的なのがちょっと私がいわからず、
2:16:57	これが無視できない。
2:17:01	これはせん断耐力の比率なのかそれとも

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:04	何か別の観点なのかわからなかったですねこの部署だとステップ 1、0.82 よりもステップ計算のほうが小さいコネクタこうい交流でなんかこうすべて 8 とか 0.93 のことを言うておらず、
2:17:21	これはどこに出てくるようなのかちょっとわからなかったんですね、ちょっとこれだけちょっと教えていただきますか、そういう割合が何かちゅうわけです。
2:17:31	東北電力ホリミですと有効割合なんです、同じく 6 の 2. の 2-25 ページお聞きください。
2:17:45	ステップ 1 ステップ 2 という解析やってございますが、従来工法とCCb工法従来工法というものは先施工性の預金
2:17:54	向こう期間設けないものですから、それと同じように解析やってございます。それぞれ出たせん断耐力を比較しまして、従来工法とCCb工法の比率。
2:18:06	ほ有効 0 というふうに整理してございます。
2:18:13	規制庁フジワラですと添付 2-25 で、そうですね、ここでステップ 1 の 0.82 という数字とステップ 2 の 0.93 という数字が実際このえと先の元に戻った 21 ページですか。
2:18:30	にもこの括弧内の数字で書かれてるんここで私も理解できました。
2:18:35	お尋ねにもだけの話がその数字がSTEP2の方がおっきいのは確か確認しますけど、小さいと言われると、この有効データなんだっけというのが私の趣旨です。
2:18:49	日本語だけです。
2:19:05	特にこれミス所書物いただいてよろしいですか。
2:19:25	電力ホリミです。
2:19:27	はい。
2:19:29	これは表現の見直し含め改めて確認してお伝えいたします。
2:19:35	規制庁以上です。私の方から以上です。
2:19:42	私のほうのすぎハラですけど。
2:19:45	ちょっと用意したやつあるんですけど、ちょっと気に気づいた事項があるんでちょっと確認してからもう一度やります。
2:19:51	脅威です。
2:20:00	はい、じゃあ、規制庁の乱す私の方から 2 個ぐらい記載に関する事です。参考 6-添付資料 2-4、
2:20:25	ちょっとここで
2:20:27	かぶりっていう言葉が
2:20:30	あるやりますよね。で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:32	ここで使われてるかぶり厚さって言うのは、鉄筋の資金とコンクリートのサービスの距離ですか。
2:20:44	特にホリミですと至近の新かぶり、
2:20:47	設計に用いるかぶりですが、ちょっとこれ一般論なんです、
2:20:54	かぶりっていうと鉄筋の外側のサービスからコンクリートサービスまでの距離を普通一般的に言うと思うんですね。
2:21:03	ですから、今鉄筋浸透国立サービスまでの距離を言われているとすれば、これはちゃんと説明をつけておいたほうがいいですね。
2:21:14	ホリミです。
2:21:17	適正化いたしたいと思います。
2:21:20	はい、よろしくお願いします。私からもう一つなんです、
2:21:26	参考の今、6-やっぱり添付資料 2-11、
2:21:31	12 なんです、
2:21:34	従来工法上に乗ってる従来工法の図っていうのはこれ解析材料非線形解析結果ですか。
2:21:49	添付の 2-10 表と 11 条で、左上に従来工法の
2:21:55	Pd Δ関係が出てますよね。これは解析結果ですか。
2:22:01	東北電力ホリミですはい解析結果になります。これで従来工法についても、
2:22:09	従来広告のシリーズ、
2:22:13	1-2。
2:22:15	1-2 で実験結果
2:22:18	ありますよね。次のやつの解析結果の
2:22:25	これもシリーズ 3-2 で実験結果があるんですが、
2:22:28	これ実験結果もここにしたと同じように重ね書きしていただくことができますでしょうか。
2:22:47	東北電力ホリミで 3 鉄建結果をちょっと確認をしまして、その範囲できるか確認をしておきたいです。すみません。よろしくお願ひしますあの下のように、下のように実験結果等の解析結果こう二つ書かれて上のほうは解析結果だけだと思うんですね。
2:23:04	実験を得られているので、何かデータが残ってないとかって言ったら情報わからないんですが、もしも書けるもの同じ比較をしておいてください。よろしくお願ひします。
2:23:13	はい、東電のホリミです承知いたしました。はい。私からは以上です。
2:23:24	規制庁フジワラです。在宅の方でこの資料全般に関してご意見等ございましたらお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:48	はい、規制庁フジワラです。質問等はないようですので、当方でNさんのほうから本日のヒアリングについて何か確認したこととかあればお願いします。
2:24:04	東北電力、
2:24:07	東北電力の斎藤ですけど 1. 炉心でしょうか。
2:24:11	はい、お願いします。予算の検討とその運営の悲しいに少し戻って、
2:24:20	1点確認低下担保すけれども、系統外変形の不十分さとかそういう話集めまして、さっきに入って、
2:24:32	ちょっと育て面外荷重が再開したような状況であるかっていう話に関してなんですけど。
2:24:39	メンバー日経範囲マスターのここに書いてある通り3をCCbの系統機能がないもんですからある程度降つる状況が想定されてるところも取り出されたときにどうなるかっていう
2:24:55	ところになると思うんですけども、そのままのづらくとかでお示しする人ほかよろしいという理解でよろしいんでしょうか。
2:25:08	ほぼ
2:25:17	規制庁と。
2:25:25	。
2:25:26	規制庁フジワラです。
2:25:32	犬、ほぼ先ほど振り仮名お話ありました通り弁概況家族が先行して、同時に取りオノ状態ときにその指針を
2:25:43	軸ひずみ等テーマというのは今回解析をやって来当期なるんですけども、
2:25:52	今日は人間関係先に
2:25:57	これ、
2:26:02	inch2、
2:26:07	聞こえていますでしょうか。
2:26:10	規制庁フジワラももしかしたら通信状況が悪いのかもしれないですけど、もう1回ちょっとご説明をいただいていた。
2:26:19	はい、検討人間の資料の件なんですけども、先ほどからちょっと議論がありましたような認定が先に入ったときに、約 50。
2:26:32	本当なんだという話でございましたけれども、時専門系を先にかけてみると、このような形で基準は、
2:26:42	ホリミ形でずっと決定の納豆によって後で 753 要素設定という効いてくるってというような状況が想定されてくるんですけども、イトウのな。
2:26:57	そこも含めて当事会との
2:27:00	キクチするというのがことで、閉よろしいんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:05	すみません、確認です。
2:27:08	規制庁扶助ちょっと私の確認は確か私の理解だけであのお話させていただきますと、まず根本的には面外が面内どっちが先かっていうのは問題はあるものの、まずはどういうふうな状況になるときに、
2:27:26	あとせん断補強効果が得られるかっていうのは、これが私たちが一番確認したことであるというエザキが申し上げた通りですね、そのときに、じゃあ、面内を先に来るとしても500ぐらいから大したことないと確かに、うん、そうだなと思うんですけど、あと制限値をどういうふう考えるかによっては、
2:27:43	もしかしたらもちろん考えないといけないかもしれないとは思いますが。ただし、そういったような制限値等も踏まえて、今の最下順番でよいというストーリーを組み立てられるっていうのは、これは一つの
2:27:59	5000示し方の内容になるんじゃないかと、例えば、もっと具体的にというのは110750マイクロに荷重年内線ひずみを制限することを計算書にうたった上で、
2:28:14	こういった影響がないというのが一つでも確かに答えますがそれに基づいているんな示し方あるかと思えますよ。それはそこまでは私どもは今回言及はしてないっていうのは、今の私の理解です。そんな回答もし
2:28:31	ほかの中で補足があればお願いします。
2:28:35	東北電力の斎藤です。その設計クライテリアというかどれぐらいのひずみレベルまでサイトウせて設定として、
2:28:49	示しさせていただくっていうことで承知しました。はい、規制庁のエザキですが、いわゆる部分までの制限だったら、CCbを使えるという説明かを説明をしてくださいということで理解されたと思ってますんで。
2:29:07	それともですね、ミウラの方からもちょっと実用炉品等与えていて、じゃあ、
2:29:13	設計値、これはもう実際実験の代わりにシミュレーションしてるんで、ほぼほぼアズイズの状態なんですよ。設計値としてこれ置き換えたらどれだけ余裕があるんですかっていうのをちょっとですねミウラがさっき聞いていたと思うんですけど、
2:29:33	そういった観点から考えていって、
2:29:36	ときに、さらにもう少し余裕が生まれてくると思うんですけどねそういうことも踏まえて、設計ではどういう設計をされるんですかっていうことがわかるように整理していただければいいんだと思えます。以上です。
2:29:51	。
2:29:52	東北電力の斎藤です。小地震いたしましたようでございます。以上です。
2:30:02	はい。規制庁フジワラです。どちらも特にないようですので、ヒアリングのほうはこれにて終了したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。